

# 簡易生命保險法案外一件特別委員會會議事速記第六號

大正五年二月二十六日(土曜日)午前十時五十五分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) 是ヨリ簡易生命保險法案外一件ノ特別委員會ヲ開キマス

(速記中止)

○委員長(伯爵林博太郎君) 是ヨリ正式ノ特別委員會ニ移リマス、モウ質問ナドモ十分ニ盡キタモノト考ヘマスカラ討論ニ移リマシテハ如何デゴザイマス

(贊成デゴザイマス)ト述フル者アリ

○委員長(伯爵林博太郎君) ソレデハ是ヨリ討論ニ移リマスカラ何卒腹藏ナク御意見ヲ御述ベテ願ヒマス、差當リ二案デゴザイマスガ、問題トシテハ簡易生命保險法案ノ方デケデゴザイマスカラ其御積デ御討論ヲ願ヒマス、是ハ非常ニ重大ナル案デゴザイマシテ、先程皆様方ノ中デ御考モゴザイマシタコトデゴザイマスカラ、簡易ナ手續ニシマセヌデ、三ツノ讀會ヲ經過シテ決ヲ採ルコトニ致シタイト考ヘマス、御異議ゴザイマセヌケレバ左様ナ手續ニ致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵林博太郎君) ソレデハ是ハ第一讀會デゴザイマス

○仲小路康君 私ハ本案ニ付キマシテ贊成ノ意見ヲ申述ベタイト考ヘマス、今日此問題ニ付キマシテハ種々ノ浮説モアリ流説モアルノデアリマスカラ、私ハ一應自分ノ態度モ明カニ致シテ置キタイト考ヘマス、私ハ此案ニ付キマシテハ會テ在職當時ヨリ此事柄ハ國家社會ノ爲ニ甚ダ必要ナコトト考ヘテ居リマシタノデアリマス、現ニ此案ニ付キマシテハ發案竝ニ調査ノコトニモ從事イタシテ居ッタノデアリマス、國家社會ノ爲ニ甚ダ必要ナ計畫ト考ヘテ居ッタ次第デアリマス、此事柄何人ノ手ニ依リマシテ實行サレマシテモ自分等ノ主張ヲ貫徹スル上ニ於キマシテハ甚ダ満足ヲ表スル次第デアリマス、成ルベク此事柄ガ一日モ速ニ實現サレムコトヲ希望スルノデアリマス、此考ヨリシテ時ノ政府ノ如何ナルヲ問ハズ、何人ノ手ニ依リマシテモ平素ヨリ主張シテ居リマスル事柄ガ實行サルコトヲ望ム上ニ於テ本案ヲ贊成イタスノデアリマス、尙ホ私ハ是ガ今日我が國情ノ上ニ於テ甚ダ必要ナ計畫ダト信ズルノデアリマス、ソレハ申スマデモナイ次第デアリマスガ、人生ニ保險ノ必要ナルコトハ今日漸々保險事業ガ發達シテ參ル上カラ考ヘマシテモ極メテ明瞭ナコトト存シマス、既ニ一般ニ對シテ保險ノ事業ガ甚ダ必要ナモノデアルト致シマスレバ殊ニ中流以下下層社會ニ對シマシテハ、相成ルベクハ保險思想ガ普及サレマシテ成ルベク老後ノ爲ニ計畫ナシ、或ハ死後ノ經營ヲナシテ茲ニ恆産ヲ造リ恆心ヲ養フ方法ヲ執ルト云フコトハ社會組織上ニ甚ダ必要ナコトト考ヘマスノデアリマス、下層社會殊ニ中流以下ノ人々ニ對シマシテハ出來ルダケノ便利ノ方法ヲ與ヘ、成ルベク簡易簡便ノ方法ヲ執リマシテ營利ノ觀念ハ毛頭此事ニ挾ムコトガ出來ヌモノト考ヘルノデアリマス、即チ犧牲的ノ精神ヲ以テ中流以下ノ爲ニハ成ルベク面倒ヲ見テ此目的ヲ達セラルヤウニ致シマスコトハ蓋シ國家ノ公義務デアルト考ヘルノデアリマス、之ニ付キマシテハ成ルベク

營利ノ念ヲ去シテ出來得ルダケノ面倒ヲ見ル方法ヲ講ズルトスレバ、ドウシテモ是ハ國家事業ト致ス外ニ途ハ無イコトデアリナカト存シマス、而シテ一面國家ニハ誠ニ便利ナ機關トシテ全國ニ七千二百ノ郵便局所モ備ヘテアリマス、又貯金局ヲ初メトシテ總テニ於テ金錢ノ取扱カラ種々ノ便宜ノ機關モ備ヘテ居リマス、成ルベク是等ノ機關ヲ利用イタシ應用モ致シテ、下層民ノタメ殊ニ中流以下ノ人々ノ爲ニ出來ルダケノ方法ヲ盡スコトハ誠ニ大切ナコトデアリナカト自分等ハ存シマス、此際ニ於テハ中流以下下層ノ人々ノ爲ニ同情ヲ表シテ出來ルダケノ方法ヲ講ズルト云フコトハ實ニ今日我が狀態ニ於テ必要デアルト考ヘマス、蓋シ今日マデノ委員會ノ經過ニ依リマシテモ、是等ノ大體議ニ付テハ委員中ニ蓋シ御異存ナカッタ思ヒマス、唯茲ニ最モ憂フル點ハ折角今日マデ發達シ來タ保險事業ハ現ニ民營ニ屬スノデアリマス、此民營ニ屬シテ居ル保險事業ガ是ガ爲ニ影響ヲ受ケハセヌカ、之ヲ一面保險事業ニ從事スル人々ノ中カラシテ此影響ガ非常ニ烈シモノデアアル、殆ド既設會社ヲ撲滅スルニ近イコトナリハセヌカトマデ極端ニ論ズル者ガアルノデアリマス、是モ甚ダ私ハ誤ッテ居ルト思フ、又是ト反對ニ此事ヲ實行シタ所ガ何ノ影響モ及ボサヌ、一切影響ハナイト斯ウ言フノモ是モ矢張り極端ニ失シテ居ルノデアアル、ドウモマデ影響ガ及ボサヌト云フ譯ニハ參リマスマイカト思ヒマス、少ナクモ二百圓ノ關係ニ付テハマルデ影響ハナイト云フコトモ是モ過ギテ居ル話デアッテ、多少ノ影響ガナイトハ言ヘマスマイト考ヘマス、去リナガラ私共モ折角今日發達シ來タ保險事業ニ影響ヲ與ヘテ、民間事業ガ萬々一萎靡不振ノ狀況ニナルト云フコトハ甚ダ自分等モ憂フルノデアリマス、成ルベクハ兩方都合好ク兩立シテ並行ハレテ、圓滿ノ結果ヲ擧ゲテ民營事業ニモ影響セズ、又本案ノ爲ニモ都合好キ結果ヲ得タイト云フコトヲ望ムノデアリマス、是ニ付キマシテハ當委員中ニモ段々其點ノ御心配ノアルノモ私ハ決シテ御無理デハナイト存ズルノデアリマス、又ツレガ爲ニ實ニ數回懇談ニ懇談ヲ重ネテ兩方ノ意見モ十分ニ承ハルコトモ出來タ譯デアリマス、是ハ決シテ自分共モ御無理デハナイト存ズルノデアリマス、併ナガラ如何ナル事業モ何等カノ點ニ影響ヲ及ボスコトハ是ハ避ケ難タイ、曾テ鐵道ノ敷設ノ際ニモソレハアル、電氣事業ノ起ル際ニモソレハアルノデアリマス、如何ナル事業ニ付テモ多少何處カニ利害關係ノ起ルコトハ是ハ已ムヲ得ヌノデアリマス、サスレバ大體ヨリ見テ一般ノ利益ニ互ルモノノ爲ニハ、多少ノ關係ガアルト云フテモ是ハ忍バネバナラヌモノデアリナカト思フノデアリマス、是ハ下層社會殊ニ中流以下ノ爲ニハ是ダケノコトハ忍バネバネバナラヌサカト思フノデアリマス、ノミナラズ私ハ斯ウ思フノデアリマス、一方ニハ多少ノ影響ガアリマシテモ、亦他面ヨリシテハ必ズ保險會社ノ爲ニハ利益ガアラウト思フ、私ハ衷心ヨリ保險事業ノ發達ヲ望ムノデアリマス、又折角此事業ノ隆盛ヲ期スルノデアリマス、此結果ハ必ズ一面ニハ保險思想ガ一般ニ涵養サレ、一般ニ發達シテ參リマシレバ、自然ニ上流者ノ所謂大口保險、是等ノ者モ中流以下デサヘモサウスルト云フ以上ハ、成ルベク其途ヲ取テ置カネバナラヌト云フコトニ至ルハ是ハ必然ノ結果ガラウト思ヒマス、曾テ貯金事業ノ獎勵ヲスレバ一般ノ民間ノ貯蓄銀行マデ發達ヲ致シタノデア

リマス、デアリマスルカラ此結果ガ、一面ニハ多少失スルコトガアリマセウトモ必ズ他面ニ於テハ重大ナ好影響ヲ及ボシハセカト思フデアリマス、殊ニ又此資金ノ使用方法ナドニ付キマシテモ、成ルベク地方ニ分配モサレ散布モサレテ、ソレガ公平ニ事業ノ爲ニ使用サレト云フコトニナレバ、相惹イテ此結果ハ兩面ニ於テ少ナカラザル利益ガアリハセカト思フデアリマス、私ハ豫テ主張シテ又今日現在ノ狀況ヨリ考ヘマシテ、保險事業ノ性質立ニ保險會社ノ發達ニ鑑ミマシテ、此事柄ハ決シテ妨ゲナイト信ズルデアリマス、願ハクハ、本案ニ付キマシテハ、唯今申上テマシタヤウナ次第デアリマス、相成ルベクハ滿場ノ御同情ヲ得マシテ、貴族院ハ社會政策ノ一部トモナルベキニ付テ、同情ヲ以テ是ニ貢獻スルデアルト云フ實ヲ舉ゲテ見タイト思フデアリマス、甚ダ潛越ノ次第デアリマスガ、茲ニ衷情ヲ披瀝シマシテ諸君ノ贊成ヲ只管希望スルデアリマス

○子爵前田利定君 本員ハ此本案ノ實施ニ付キマシテハ利害ノ關係ヲ有テ居リマスデアリマス、故ニ此特別委員會トシテ居リマスコトモ本員ノ考ヘ回避シタイ位ノ考テ居リマシタデアリマス、故ニ先日來質問繼續中ニ於キマシテモ、本員ハ澤山ナル質問事項ガアリマシタニ拘ラズ一意沈黙ヲ守リテ今日マデ來テ居リマス次第デアリマス、本員ノ此問題ニ對シマスル反對ノ意見ハ、此法案ガ貴族院ノ議事日程ニ上リマスル前數日ニ、各派ノ議員ノ御方ニ愚見ヲ草シマシタル反對意見書ヲ漏レナク呈シテアリマシタ次第デアリマスルカラ、本員ガ是ニ反對スル理由ハ御志アツタ御方ハ其小冊子ヲ御覽下サイマシタコトト存ジテ居リマスルカラ、此際ソレヲ喋々申述ベマセヌ、簡單ニ反對ノ意志ヲ表明イタシテ置キマス

○桑田熊藏君 本案ニ贊成ノ理由ヲ申述ベタイト考ヘマス、未ダ反對ノ御方ノ御意見見ガ此議場ニ現ハレマセヌカラシテ反對ノ意見ノ批評ヲナスノ材料ヲ持チマセヌデアリマス、不便ト考ヘマスケレドモ、併シ從來例ヘバ前田子爵ノ御意見書、或ハ保險業者カラシテ諸君ニ陳情ヲシタ意見書、其外此議場ニ於テモ異ニ形式ニ現ハレタ反對意見ガゴザイマスルカラ、是ニ向テ一應ノ辯明ヲシテ置キマシテ、本案ニ贊成ノ意見ヲ述ベルコトハ尙ホ無用デアリマイト考ヘマスルカラ、簡單ニ皆サシノ御清聴ヲ汚シタイト思ヒマス、此簡易保險法案ト云フモノハ是ハ多年ノ懸案デアリマス、而シテ歷代ノ内閣ガ是認ヲシタモノデアリマス、申スマデモナク第二十七議會デアリマシタカ本員ガ政府ニ向ッテ、豫算總會ニ於テ政府ニ社會政策ノ方針ヲ質問イタシマシタ場合ニ於テ、平田内務大臣ガ政府ヲ代表シテ答辯スルト云フ前提ノ下ニ、政府ハ社會政策トシテハ先ヅ工場法ヲ實行スル、又簡易保險ヲ實行スルト、斯ウ云フコトヲ明カニ言明ニナツタデアリマス、又第三十一議會ニ於キマシテハ豫算ノ分科會ニ於テ或議員ノ質問ニ對シテ、此處ニ御出デノ山本達雄君ガ農商務大臣トシテ簡易保險ニハ政府ハ贊成ダト云フコトヲ言明ニナツテ居リマス、而シテ又民間ノ論ヲ見マスト云フト、政府ノ諮問ニ對スル各商業會議所ノ答申ニ於キマシテ大多數、殆ド全部ト云フテ宜イ、之ヲ是認シタ答申ヲシテ居リマス、學會ニ於テモ或ハ實業團體ニ於キマシテモ多數ハ是ニ向ッテ贊成ヲ表シテ居ルデアリマス、シテ見レバ官ニ於テモ民間ニ於キマシテモ、此問題ハ早ヤ一點ノ疑ヒナク是認サレタルコトト吾々ハ信ジテ居リマス、デアリマスルカラ本案ガ貴族院ノ問題ニナリマスト云フト、モウ忽チ諸君ノ御贊成ガアルコトト思ヒノ外、意外ニモ反對ノアリマスコトハ

誠ニ遺憾ニ存ジマス、是ハドウ云フ形デ反對意見ガ現ハレタカト云フト、是ヲ一々申スト長クナリマスカラ簡單ニ申シマスガ、簡易保險ハ勞働保險ニアラズ、從ッテ社會政策ニアラズト云フ斯ウ云フ論ガ世間デ屢見ヘマス、私ハ是ニ對シテハ簡單ニ答ヘタイ、勞働保險ニアラズトモ細民ノ保險アレバ一種ノ社會政策タルヲ失ハナイ、極ク簡單ニ答ヘマス、然ラバ勞働者ニアラズトモ其經濟的地位ニ於テ、其生活狀態ニ於テ如何ニモ憫ムベキ者ガアツタナラバ是ニ向ッテ此保險ノ恩澤ニ浴セシメル、是レ社會政策上當然デアリマス、其例ヲ舉ゲテ見マスルト、小學教員或ハ下級ノ官吏等モ其生活狀態ガ勞働者ニモ及バナイト云フモノガアレバ、是ニ向ッテ保險ノ恩澤ニ浴セシメル、是ハ立派ナ社會政策デ、寸分疑ハザル社會政策デアルト信ジマス、既ニ此本案ガ現ハレマス以前ニ於テ、吾々文部省ニ於テ教育調查委員會トシテ教育問題ノ調査ニ從事シテ居リマシタ同志ノ内ニハ、若シ此レガ實行サレナラバ此案ニ依ッテドウカ全國十萬ノ小學教師ニ向ッテ出來ルナラバ強制ヲシヤウ、強制ヲシナイデモ此小學教師ニ向ッテ此保險ノ恩澤ニ浴セシメヤウ、是ニ付イテハ政府モ相當保險料ノ補助モ爲スコトガ出來マセウシ、免ニ角此全國多數ノ小學教師ニ向ッテ保險ノ利益ヲ受ケシメル、斯ウ云フ意見ガ同志間ニ隨分盛ンデアツテ、何レハ本案ヲ具シテ其會ノ問題ニシヤウト思ッテ居リマシタ、サウ云フコトヲ考ヘテ見マシテモ、此簡易保險法ハ社會政策ニアラズト云フコトハ是ハモウ全ク根據ナキ說デアルト斷言セザルヲ得ナイ、ソレカラ又斯ウ云フ意見モアリマス、是ハ簡易保險ノ前ニ勞働保險ノ制定ガ必要デハナイカ、斯ウ云フ意見ガアル、是モ御尤モノ意見デアリマス、併シ私ノ見解ニ依リマス、簡易保險ハ見方ニ依ッテ一種ノ勞働保險デアル、此簡易保險ノ多數ノ被保險人ハ政府ノ豫期スル所モ吾々ノ想像スル所ニ依リマシテモ、多數ハ勞働者デアルト云フコトハ疑ヒナイ話デ、而シテ此簡易保險ト云フモノハ是ハ實ハ勞働保險デアルト云フコトハ疑ナイコトデアリマス、唯世間デ是ニ關シテ誤解ノ起ルノハ、勞働保險ト云フコトヲ能ク御承知ノナイ方ミガ、此勞働保險ニ付イテ妙ナ誤ッダ見解ガアリマス、勞働保險ト云ヘバ獨逸ノ「ビスマルク」ノ「ヤッタ」勞働保險、「ロイドジョージ」ノ「ヤッタ」勞働保險ガ頭ニ浮シテ居リマス、ソコデ勞働保險ト云ヘバ強制ヲシナケレバナラス、強制ハ勞働保險ノ必要條件ノヤウニ認メテ居ル人ガアリマス、且又此勞働保險ト云ヘバ資本家モ保險料ノ幾分ヲ負擔スルモノデアルト云フ謬見モゴザイマス、是等ノ原因カラ起ツタ間違ッタ考ヘデアリマス、勞働保險ト雖モ強制ヲシナイ任意ノ勞働保險モアリマス、又資本家ガ保險料ヲ負擔シナイ、勞働者ガケデ保險料ヲ負擔スル勞働保險モ隨分歐羅巴ニ例ガアルデアリマス、何モ強制ヲシナイカラ、資本家ガ保險料ヲ負擔シナイカラ、是ハ勞働保險デハナイト云フノハ最モ誤ッタ考ヘデアリマスカラ、此誤リヲ先ヅ訂正シテ置キタイト考ヘマス、ソレ等ヲ考ヘテ見マスルト簡易保險ハ一種ノ勞働保險デアツテ、簡易保險ノ前ニ勞働保險ヲ制定シナケレバナラスト云フ說ハ不當デアルト思フ、且又勞働保險ヲ理想ニ實行シヤウト思ヘバ強制ハ必要デアリマスケレドモ、強制ト云フコトニナルト隨分其實施等ニモ困難ガアリマシテ、容易ニ實行ノ出來ルモノデハナイ、「ビスマルク」ノ勞働保險ニシマシテモ、強制保險ヲ實行スルマデハ獨逸ハ幾多ノ任意保險ノ設備ガ整頓シテ、サウシテ「ビスマルク」ガ強制保險ヲ遂行シタデアリマス、唯一舉ニシテ「ビスマルク」

が強制保險ヲ遂行セムトシタナラバ、是ハ到底如何ナル英雄豪傑デモ出來ナイノデアリ  
マスカラシテ、此勞働保險ノ理想タル強制保險ノ前ニ、先ツ簡易保險ヲ制定シマシテ、  
是ニ依ッテ任意勞働保險ヲ遂行シタナラバ、是ハ一種ノ勞働保險デアッテ其點カラ考ヘ  
マシテモ反對スベキ理由ハナイト思ヒマス、ソレカラシテ保險業者方面ノ反對デ、是ハ  
如何ニモ同情ニ堪ヘマセヌガ、此簡易保險ノ實行ハ獨占官業デアルカラ其結果民業  
ニ壓迫ヲ來タスト云フ意見デアル、是モ私ハ多少影響ハアリマセウケレドモ、サウ保險  
業者ノ憂ル程民業壓迫ト云フ事實ハ、政府委員ノ言明ニ依リマシテモ明瞭デアリマスガ、  
是ハドウシテモ吾々同意ハ出來ナイ議論デアリマス、此問題タルヤ色ニ別ケテ説明スル  
必要ガアルト思フ、先ツ新設會社ニ於テハ、是ハ最早數年前カラ農商務省デ二百圓  
以下ノ保險ハ許可イタシマセヌカラ、此新設會社ニ對シテハ此ノ問題ハ採用サレルコトハ  
出來ナイ、既設會社ニ於テ此疑念ガ起ル、所ガ保險會社ノ方面カラ諸君ニ提供シタ  
材料ヲ見マスルト、イツデモ契約ノ現在高ヲ示シマシテ或ハ二割、三割半ハ二百圓以下  
ノ保險ガアルト云フコトヲ云フテ居リマスガ、ソレハ古い保險契約カラシテズツ積算シテ  
來ルトサウ云フコトニナリマスケレドモ、新契約ニ付イテ既往十年ノ統計ヲ見マスルト、新  
契約ニ於テハ三百圓以下、即チ簡易保險ト接觸シマス範圍ノ保險ハ、年々逐フテ減  
少シテ參ルト云フ事實ハ是ハ爭ハレナイ、如何ニ保險會社ガ辯護シテモ其統計ノ事實  
ハ爭ハレナイ、統計ニ依ッテ見マスルト現在ニ於テハ多少ノ範圍ニ於テ接觸スル點ハアリ  
マシテモ、サウエライ壓迫トカ何カ云フコトハ、餘程ノ程度ニ於テハ影響ハナイト云フコトハ  
疑ヒモナイ、且又政府委員ハ謙讓ノ態度ヲ以テ説明サレマスケレドモ、私ラシテ云ハシ  
ムレバ民業壓迫ト云フコトハ社會政策上重要問題ニアラズト云フコトヲ申上ケマス、社  
會政策ハ公益デアル、民業壓迫ハ利益ノ害デアル、而モ公益私益ヲ對照シテ若シ公益  
ノ爲ニ私益ヲ擲ツベキ必要ガアレバ、之ヲ遂行スルコトハ、政治家ノ當然ノ責務デアリ  
マスカラ、若シ社會政策上簡易保險ガ必要デアレバ、假令民業ニ壓迫ヲ加ヘルトシテ  
モ、之ヲラザルヲ得ヌデアリマス、今日カラ見ルト大分昔ノ事デアリマスガ、此處ニ御  
出デノ仲小路君ガ通信次官デ政府委員デアッタトキニ、鐵道國有ノ案ガ出マシタ、此  
鐵道國有ト云フコトハ隨分思ヒ切ツタ案デ、鐵道ト云フモノハ民間ノ會社デヤッテ、特  
許期間ヲ與ヘラレテ居ツタ、其特許期間ニ於テ鐵道ヲ買収シヤウト云フ、隨分思ヒ切ツ  
タ案デアリマシタガ、是ハ私モ其當時ハ反對イタシマシタガ、併ナガラ今考ヘテ見マスレ  
バ、寧ろ是ハ當然ノ事ナノデ、鐵道國有ト云フコトガ、公益上必要デアレバ、之ヲ買収  
シテ私益ヲ害スルト云フコトガアッテモ、一向差支ナイト考ヘテ居リマス、サウ云フ風ニ論  
ジテ來マスト云フト、民業ノ壓迫ト云フコトヲ以テ此簡易保險ニ反對ヲ爲スト云フコト  
ハ、縱令壓迫ノ事實ガアルトシマシテモ、是ハ甚ダ根據ノ弱イ議論デアリマス、此簡易  
保險ノ如キ、保險ノ中デモ最モ危險ノ伴イ易イモノデ、民業トシテハ如何ニモ危險デア  
ルト云フモノニ付キマシテハ、是ハドウシテモ政府デラザルヲ得ナイデアリマス、之ヲ民  
業ニ委シテ置ケバ、幾多ノ保險會社ガ倒レテ、無數ノ憫ムベキ細民ガ損失ヲ蒙ツテ悲慘  
ノ境遇ニ陷ツタ曉ニ、或ハ保險會社ガ合併シテ一ノ大キナ會社ヲ起シテ、此事業ヲ獨  
占スルト云フ結果ニナルデアラウト思ヒマス、若シ民業ノ獨占ト云フコトヲ豫想シタナラ  
バ、政府ガ官業デアルト云フコトハ、長イ間細民ガ保險會社ノ爲ニ犧牲ニナルト云フコ

トヲ豫防スル手段デアルト考ヘマシテ、是ハ今日カラ官業デアルコトガ、ドウシテモ必要デ  
アルト思ヒマス、斯ク論ジテ來マスト云フト、簡易保險法ニ對シテノ反對意見ハ、之ヲ  
忌憚ナク言ヒマスレバ、保險業者ノ爲ニ幾ラカ社會政策ヲ傷ケハシナイカ、私益ノ爲ニ  
公益ヲ犧牲ニスル嫌ガアリハシナイカト斯ウ考ヘマスルカラ、ドウカ此貴族院ノ諸君ハ、  
マデ貴族院ガ標榜シテ居ツタ通り、貴族院ノ多數ノ方ニハ社會政策ニハ同情ガアリ、無  
數ノ細民ニ向ッテハ一擲ノ涙ヲ流スト云フ御考ノ方ニカ多イト云フコトヲ、世間誤解  
シナイヤウニ、本案ニ向ッテハドウウツ斷然全會一致ヲ以テ奮ッテ御贊成アラムコトヲ本員  
ハ希望イタシマス

○水野鍊太郎君 チョット私ハ委員長ニ伺ッテ置キタイト思フノデアリマスガ、唯今ノハ謂  
ハユル一讀會デアリマシテ、大體贊成デアルカ反對デアルカト云フコトヲ決スルノデアリマ  
スガ、此内容ニ付キマシテ、然モ主要ナル點ニ付キマシテ、意見ノアル方モアラウシ、或ハ  
修正セムトスル人モアラウト思ヒマス、ソレデソレノ通過如何ニ依ッテ又前ノ意見ニ異動  
ヲ來スコトモアラウト思フ、例ヘバ其主要ナル點ガ自分等ノ意見ノ通りニナルノナラバ宜  
シイガ、若シ主要ナル點ガ其通りニナラナイナラバ反對スルト云フコトガナイトモ限ラヌ、ソ  
レデアリマスカラ、此際大體ヲ議スル際ニ於テ、主要ナル點ニ付テノ討論シタラ如何デ  
アラウカト思ヒマス、第二讀會ハ逐條ニ付テドウスウト云フコトデアリマスカラ、大體ニ付  
テ意見ガアレバ此際意見ヲ述ベルコトハ差支ナイト云フコトニ致シタイト思ヒマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 水野君ニ御諮リシマスガ、二讀會ノ順序ヲ經過スルノ  
デアリマスカラ、露骨ニ言ヘバ或修正ヲ出ストカ云フ御意見デモアリマスナラバ、ソレハ  
第二讀會ニ於テ御出シニナッテハ如何デスカ、第一讀會ニ於テハ先ツ大體ニ付テノ可否  
ヲ決スルト云フ順序ヲ踏シタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○鎌田勝太郎君 私モ水野君ト同感デゴザイマス、一讀會ノ全體ノ案ノ趣旨ニ對シ  
テハ私等モ贊成スル一人デアリマスガ、併ナガラ此法案其モノニハ容易ニ贊成ハ出來ナ  
イ、故ニ此法案ノ重モナル點ニ付テ先ヅ討論ヲシテ、然後第二讀會ニ移ス、サウシテ  
謂ハユル條文ノ整理ヲスルト云フコトハ宜シウゴザイマスガ、一讀會ニ於テ大體ノ趣旨ヲ  
論ジマシテ、其議論ノ歸著スル所ニ依リマス、又更ニ意見ヲ生シテ來ル譯デアリマスガ  
ラ、此際ニ於テ案其モノノ趣旨ニハ贊成ノ方ガ恐ラク大多數デアラウト思ヒマスガ、此  
案ノ組立ニ付テハ大ニ議論ノアルコトヲ考ヘマスル故ニ、大體ニ於テ大ナル修正ニ意見ヲ  
持ッテ居ラルナラバ此際ニ於テ討論ヲ盡サルコトヲ希望イタシマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 先程皆サニ御諮リ致シマシテ、二讀會ヲ經過シテヤ  
ルト云フコトデ此處マデ進シテ來テ居リマスガ、唯今水野君並ニ鎌田君ノ御話ガアリマ  
スノデ、或ル重要ナル條項ト云フヤウナコトニ付テ議論ガ起ルダラウカラ、其方ヲ先ヘ極メ  
テ行ツタ方ガ早ク極マルダラウト云フコトデアリマスカラ、會期モ切迫ノ際、皆サン多數ノ  
御意見ナラバ、讀會經過ノ必要モ無カラウト思ヒマスガ、即チ其點ニ付テ討論ヲシテモ  
宜カラウト思ヒマスガ、一應御諮リ致シマス

○仲小路廉君 私ハ先刻謂ハユル大體議ニ付キマシテ贊成ノ意見ヲ述ベタノデアリマ  
ス、唯今水野君此案ノ主要ナル點ニ付テ若シモ意見ガアレバ、是ガ矢張り大體ニ關係  
スルカラト、斯ウ云フコトデアリマシタ、鎌田君モ矢張り、大體ニ付テハ贊成デアルケレド

モ、或ル事項ニ付テ重要ナ關係ガアツテ、ソレガ本案ニ影響ヲ及ボシテ來ルカヲ、斯ウ云フコトデアリマスカラ、私ハ此議事ノ點ニ付テ餘リ窮屈ナ事ヲ別段ニ申述ベタイトハ思ヒマセヌ、ソレハ直接ニ密接ノ關係ガアレバ、此際ニ議サレマシテモ一向差支ヘナイト考ヘマスガ、併ナガラツレガ一ノ修正意見ニナリマスレバ、同時ニ又其修正ニ對スル反對意見モ直チニ此席ニ於テ述べルヤウニシタイト考ヘマス、サウナリマスレバ詰リ同ジコトナリマスカラ、成ルベクナラバ大體ニ付テ一應御極メニナツタ方ガ宜カラウト思ヒマス、修正意見ナラバ第二讀會ニ述ベラルノガ當然デアリマスカラ、サウナリマスレバ便利ト思ヒマス、是ハ詰リ議事手續ノ點デアリマスカラ、別段窮屈ニサウナラナケレバナラヌト云フコトハ申シマセヌガ、大體ソレガ便利ト思ヒマス

○荒井泰治君 私モ詰リ水野君ノ御提案ニ對シテ鎌田君ノ御賛成ガアリ、唯今仲小路君ノ折衷意見……半バ以上御賛成ノヤウナ、大體ニ付テ之ヲ議シテ、若シ主タル改正ノ案デアレバ提出シテ、又反對ガアレバソコデアツレバ議シテ宜カラウト云フ御説デアリマスガ、私ハ矢張り此案ノ發案セラレマス御趣意ハ賛成デアリマスガ、案其モノニ付テハ矢張り反對ト言ハナケレバナラヌト、此點ニ付テハ多少案ノ大體ニ付テ賛成スルト云フノトモ違ヒマス、サウ云フ風ニ種々分レテ居リマス、水野君並仲小路君ノ折衷説モアリマスガ大體ニ付テ賛成モアリ反對モアツタラ宜カラウト云フ御説ニナサルコトヲ希望スル

○委員長(伯爵林博太郎君) 段々色々御話ガアリマシタガ、水野君ノ免ニ角動議ガ出テ居リマス、唯今案ノ經過ト云フコトヲ中止シマシテ更ニ重要ナ問題ニ付テ討議スルト云フコトニ付テ一ツ決ヲ採リタイト考ヘマス、水野君ノ動議ニ賛成ノ御方ノ起立ヲ請ヒマス

## 起立者 多數

○委員長(伯爵林博太郎君) 多數ト認メマス、ソレナラバ此ノ簡易生命保險法ノ條項ニ付キマシテ、特別ノ御意見ナリ又ハ修正ナリノ御考ガアリマスレバ、此際御述ベテ願ヒマス

○山本達雄君 私ハ修正ノ意見ヲ持テ居リマス、ソレヲ申述ベマス、此政府ノ簡易保險ヲ官營ニスルト云フコトハ、屢ニ遞信大臣ヨリモ述べラレマシタ如ク、是ハ中ニ政府トシテハ歴史ノアル問題デアリマス、既ニ私が在職中ニ於キマシテモ、其事ニ付テ民營官營如何ノ質問ヲ受ケマシタコトガアリマス、其時ニ於キマシテモ政府トシテハ案ハ定マラナイ、併シ官營ニシタイト云フコトニ付テハ政府ニ於テモ一致シテ居ル案アル、併シ乍ラ是ハ其方法ノヤリ方ノ如何ニ依テ大ニ關係ヲ持ツコトアル故ニ其調ベニ付テ容易ニ出來ナイ、今日ハ調中デアアル攷究中デアルト云フコトヲ答ラシタコトモ記憶シテ居リマス、ソレハ是迄此案ガ長イ間政府ニ在テ而テ今日迄此案ガ議會ニ上ボラナイト云フモノハ、案ソレ自身ガ官營デ善イカ悪イカト云フコトノ爲ニ今日迄延ビテ居ルノデハナイ、官營ト云フコトニ至シテハ皆一致シテ居ルデアリマスガ、其方法如何ニ依テ非常ナル關係ヲ持チマス、故ニ今日迄之ガ延ビテ居タコトト信ジテ居リマス、成程此ノ細民ノ爲ニ保險ヲシマスコトニ付キマシテハ、第一ノ要點ト申シマスレバ申ス迄モナク堅確ニシテ行クコトガ、細民ニ損害ガ及バヌ安必シテヤラセルト云フコトガ之ガ第一ノ條件アル、

又第二ニ於キマシテハ細民ノ爲ニ營利事業トシテ之ヲ爲スト云フコトハ案ノ性質ソレ自身トシテ宜シクナイ、成ルベク非營利主義ニ行クガ適當ナモノデアアル、ソレニ付キテハ官營ガ宜シイト云フコトニ付テモ喋々ノ辯ヲ待タナイコトデアリマス、又此下級者ニ向テ大ニ節儉ノ念ヲ起シ後顧ノ憂ガナイヤウニサウシテ彼等ガ恒心ヲ持テ仕事ヲ爲スト云フコトハ必要デアアル、ソレニ付テハ此ノ細民保險ト云フモノヲ政府ガ成立タシメテ、サウシテ之ニ依テヤラセルト云フコトニ付テモ必要ナコトデアアル、唯問題トナルベキモノハソレヲ爲スニ、或ハ下級社會ノ爲ニ折角設ケタモノガ、更ニ下級社會ヨリモ中流者若クハ其以上ニ恩澤ガ浴シテ、却テ下級ニハソレダケナカッタト云フコトガ實際ノ上ニアリハシナイカ、又民營ト云フモノガ今日盛ニアリマスガ、下級下級トシテ政府ガソレヲヤルガ爲ニ民營ニ色々ナ害ヲ及ボシ、遂ニ破綻ヲ見ル如キコトガアリハセヌカ之ガ又憂フル點デアリマス、桑田君ノ如キハ公益ノ爲ニハ私利ヲ沒却スルコトハ已ムヲ得ナイ、ソレハ何共遺憾ハナイデアリマス、併シ乍ラ私立デアアルカラ公益デアイト云フコトノ判斷モ一向分ラヌ、假ニ政府ガ非常ナ方法ニシテ非常ニ盛ニナツタ、遂ニ民營ヲ壓迫スルヤウナコトラスナラバ、其結果ハ民營會社ハ破産ヲシテソレガ爲ニ此被保險者ハ多數害ヲ蒙ル、遂ニ經濟社會ノ波動ヲ起シ種々ナル害毒ヲ流ス、是ハ私立會社ガ倒レタデアアルガ故ニ如何ナルコトガアツテモ公益ノ爲ニ仕方ガナイト言テ置クコトハ出來ヌ、均シク公益ヲ決シテ此案ニ付テサウ云フ鐵道ノ如キコトヲ以テ之ニ當テテ議論ヲナサルト云フコトハ甚ダ其意ヲ得ナイコトト思ヒマス、ソコデ此ノ堅確ニシテ非營利ニシテ下等社會ノ爲ニ政府ガ之ヲヤルト云フコトナラバソレハ最モ趣旨ハ宜イガ、唯私が保險ノ趣旨ハサウデアアルガ、今ノ民營ヲ壓迫スルコトガアル、又下級社會ヲ保護シ色々恆心ヲ生ジ恆産ヲ起シ遂ニハ節儉心ヲ養成スルト云フ如キコトニ付テ趣旨ハサウデアアルガ、肝心ナルヤリ方如何ニ依テハ、遂ニソレヨリモ中流以上ノ爲ニ利益ニナツテ、下層ニハソレダケ恩澤ガ及バヌト云フコトガヤリ様ニ依テ起ル、ソレ故ニ下級社會ノ爲メ小民ノ爲メトカ云フコトヲ頻ニ申シマスガ、法律ノ上ニハソレナコトハ何ニモナイ、誠ニ美ナシハ奇麗ナ名デ官營保險、官營保險ト言ヒマシテ何カト言ヘバ色々講釋ヲシテ見タナラバ分リマセウガ、當リ前ニ言ヘバ讀シテ字ノ如ク、先ヅ簡便デアリマス便利デアリマス、普通ノモノハ或ハ検査ヲシテ色々面倒ナコトラスルガ簡易保險ハ無検査デアアル診察モシナイ、又掛金ハ家ニ居ッテモ集金掛ガ廻シテ集メテ廻ル、何モ骨ガ折レヌデ宜イモノデアルト云フコトヨリ外ニ簡易保險ト云フモノハ取レナイ、若シ之ガ政府ノ説明ノ如ク、之ガ勞働或ハ下級ノ者ノ爲メアルナラバ寧ろ露骨ニ、是ハ小民保險、或ハ細民保險、讀シテ字ノ如クシテ決シテ上等ナ、中派以上ノ人ガ這入ルベキモノデハナイ、是ハ政府ガ……國家ガ世話ヲシテヤルノハ下級社會ノ爲ニ世話ヲシテヤルノデ、中流以上ノ立派ナ人ガ這入ルベキモノデハナイゾト云フ如キ、是ハ細民保險デアアルゾト云フ如キモノデアラベナラヌデアアルガ、細民ト云フコトモ何モナイ、唯理論ノ上デアアルコトデアアル、ソレ故ニ定ニ簡易保險デ便利ナモノデアアル、或ハ上流ノ家族ノ人、又ハ高等官ト云フヤウナ人モ家族ヲ入レル、是ハ實ニ便利ナ方法デアアルカラ入レヤウト云フコトニナレバ、金錢ノ大小如何ト云フヤウナコトデ何人ガ來テモ喜ンデ迎ヘルト云フコトニナツテ來ル、況ヤ之ヲ爲スノハ二三等郵便局アタリニ手數料ヲ與ヘル、手數料ヲ與ヘテ利ヲ以テ導クト云フヤウナ勸誘ノ法ガアリマス故ニ、一人ノ者ヲヤデモ政府ノナ

ニテ行ケハ初メニ付テ千分ノ六、三百圓ノモノガ行ケバタタ一ツヤツモ三六ノ一圓八十錢唯取レト云フ如キモノデ是ハ導キマス、成ルタケ良イ人ノマア慰ニドウ御這入リナサ、寔ニ簡便ナモノデ骨モ何モ折レヌ、貴方ノ與様モ、貴方ノノニモト云フヤウナコトデハ取ルコトハ分リ切テ居ル、如何ニ政府ガ俺ハ競争シナイナドト云ツモ、ソナナコトハ居クモノデナイ、ソレ故ニ此儘ヤツテ行クト云フト動モスルト立派ナル者ガ這入ルコトニナル、是ガ此法ニ於テ趣旨ハ宜シイガ、行フ上ニ於テ關點ノ最モ非常ナルモノデヤト私ハ考ヘル、ソコデアルカラシテ政府ニ於テ愈、是ガ下級社會ノ爲デヤト云フ、貧乏人ノ爲デヤト云フナラバ、何故ニソレヲ此中ニチヤント明ニシテ置カヌ、簡易保險、寔ニ便利デアリマスト云フヤウナルモノデナシニ、是ハ下級社會ノ爲ニヤルモノデアアル、中流以上ノ人ノ此恩澤ニ浴スルモノデヤナイツト云フ意味ヲドウシテモ入レナケレバナラヌ、是ガ第一ニ此簡易保險ノ政府ノ聲明サレテ居ルモノト實際ノ上トハ大ナル違ツタルモノデアラウ、衆議院ノ中見マスト或ル議員ハ、是ハ羊頭ヲ掲ゲテ狗肉ヲ賣ルモノデアアルト云フヤウナコトマデモ言ツテ居ルト云フコトデアリマス、是ハ論外、或ハ極端デアリマスカ知ラヌガ、大イニ味ワベキ事柄デアアル、是ナラバ決シテ下級ヤノドウデヤノト云フコトハ金錢ノ大小ダケノコトデ、何モナイ、ソレ故ニ私ハ修正シテ行キマスルコトハ、第一ニ此案ニ付テ被保險者ノ資格ヲ定メル、或ハ職業ニ依リ、或ハ納税ノ高ニ依リ、イロノアリマセウガ、ソレニ付テ第一ニ是ハ下級社會ノ爲ニ政府ハ殊更ニ非營利主義デヤツテ、世話ヲ燒クノデアアル、上流社會ノ爲デアリマセヌツト云フコトヲ明ニシテ之ヲヤルト云フコトガ必要デアアル、是ハ最モ此趣旨ヲ定メル上ニ付テハ、必要條件デアアル、故ニ此案ニ付キマシテ其資格ヲ定メルト云フコトニ付テ第一ニ私ハ修正ヲシタイト思ヒマス、ソレカラ第二ハ三百圓、三百圓ト云フ金ハ至ッテ少額デアツテ民業ニハ餘リ影響ヲセナイ、壓迫ヲセナイト申シマスガ、併シソレハドウ云フ譯デセナイト云フノカハ薩張り分ラナイ、故ニ是ガ愈々壓迫スルカセナイカト云フコトニ付テハ、是マデノ實際ガ如何ニアルカト云フコトヲ又調ベルト云フコトガ必要デアアル、然ルノニ是マデノ數十ノ保險會社ニ付テ三百圓以下ノモノハ幾ラ、五百圓以下ノモノハ幾ラ、イロノアルニ付テ、既ニ此五百圓以下ノモノガ三億三千万圓デアリマス、三億三千万ト云フ如キ五百圓以下ノモノガアル、全體ノ保險額ノ十一億以上ニ付テ三億三千万ト云フ如キ五百圓以下ノモノガアル、三百圓以下ノモノニ付テモ二億圓ト記憶シテ居リマスガ、サウ云フヤウナル次第デアリマスル故ニ、此三百圓ヲ以テヤリマスルコト云フ、此五百圓以下ノ今日アリマスル三億三千万圓、總體ノ十一億ノ上ニ付テ三億三千万ト云フ四割弱ノモノガ、此保險ニ入ルカ民業ニ付テ行カト云フコトヲ爭フ數ニナル、是マデ五百圓以下ノモノハサウ云フモノガアリマスガ、簡易保險ハ寔ニ便利デア政府ガ世話儼イテ確カデアアル、ソレデ以テ保險モ無審査デ檢査モシナイト云フヤウナモノデアリマスレバ、之ヲ以テ民業ノ方ヲ斷ツテ政府ノ方ニ、一人ニ付テ三百圓ト云ヒマスルト子供ガ三人モ五人モアルト云フナラバ、誰ノ方ニ付テハ三百圓、誰ガ三百圓入レルト云フヤウナコトニナツテ來マシレバ、此モハ其實ニ於テハ家族ノ中デナカノ十分ナル高ヲ以テ、此保險ニ這入ルコトノ出來ルト云フ結果ニ陷ルノデアリマス、是ハナカノ是マデノ既設ノ會社ニ影響ヲ及スト云フコトハ言ハズモガナ寔ニ明ニナツテ居ルコトデアリマス、況ヤ日本ノ今日ノ程度ハドウデアアル、三百圓ト云ヘバ口ニコソサウ言ヒ

マスガ、ナカノ此農家ノ多イ、六割幾ラ七割近クモ農家ノアルト云フ國ニ於テヤツテ見マスト云フト、此政府ノ案ノ月分ケニシテ二十歳ノ場合ニ於テ、百圓ニ付テ、月掛ガ二十四錢、或ハ二十年滿期ノ養老保險ガ月四十五錢、此モノヲ一年ニ於テ幾ラカト見マスト、修身ニ付テ百圓ノモノガ今ノ通りデアリマスガ、三百圓掛ケルトシテ見レバ年ニ八圓六十四錢、又養老保險ニ付テハ十五圓八十錢、斯ノ如キ高ナラバ、中流以上ノ人ガ中流以上ノ人ガヤツテモ決シテ輕イモノデハナイ、サウ云フモノヲ以テ、茲ニ唯下級社會ノ爲メデアアル、社會政策デアアルト云フ如キモノヲ以テ斯ウ云フ事ヲヤラレルノデアアル、現ニ口ニスルヤウナモノデナイ、此保險ハ大變便利ノモノデアアル、我ハ直グニ這入リタイト云フ人ハ、何人カト云フト、高等官ノ立派ノ人ガ言ツテ居ル、ドウモ民業デハ危險デアアルシ面倒デアアル、ソレヨリモ是ガ在ルナラバ我ハノ忤モ入レヤウ、誰モ入レヤウト云フコトヲ、今日立派ナ人ガ言ツテ居ル、ソレガ況ンヤ農家ニ至リマシテハ、今言フ如キ趣旨デ、一人デ十五圓幾ラ出スト云フコトデアリマスルコト云フト、決シテ政府ノ言フ如キ社會政策、下級社會デアハナイ、中流社會ヲ保護スルヤウナコトニナル、隨テ民業ニ影響ヲ及ボスコトハ申スマデモナイ、ソレ故ニ是モ私ハ成ルベク低クシタイ、先ヅ其最高ヲ二百圓位ニモシタイト思フノデアリマスケレドモ、先達來政府ニ付テ色々質問ヲシテ見マスト云フト、斯クノ如キヤルト政府ノ豫算ガ立ダズシテ、終ニ豫算ガ壞レテ仕舞フガ如キ一面ニハ意味ヲ有シテ居ルヤウデアリマス、ソコデサウナッタラドウナリマスガ、斯ウナッタラドウナリマスカト云フテ聞イテ見ルト、一向御明示ニナラナイ、恰モ一軒ノ家ヲ造ツテ置イテ、此一本ノ柱ヲ取ツテ仕舞ヘバ倒レテ仕舞ヒマスルコト云フノト同ジコトデ、貴族院ニ此案ヲ出シテ一字一句ノ改正ヲスルコトガ出來ナイト云フテ、政府ノ案ハ完全ノモノデアツテ一字一句モ修正ヲ許サヌト云フコトヲ望ンデ居ル、而カモ衆議院ハドウカト申シマスルコト云フト、御承知ノ通り會期切迫デ餘リ大シタ議論モナク、唯黨派ノ……與黨ノ多數ヲ以テ一瀉千里ニ可決シテ居ル、斯ノ如キ社會ニ利害ノアルモノヲ一字一句モ修正ガナイ、殆ド反對派ニハ何等モ言ハセズシテコナラニ送ツテ來テ居ルト云フノデアリマス、ソコデ私等ハマダ十分ニ調ベテ見タイト思フノデアリマスガ、何シロ會期切迫ニ矢張り貴族院ニ廻サレタノデアアル、然ラバ其案ハドウスルカト云フト、官營ハ至極宜シイカラ一日モ早ク致シタイト云フ趣旨ハ、同ジデアリマス、ソコデドウカハ成立タセタイト思フノデゴザイマス、ソレニ付キマシテハ三百圓ヲ二百圓ニスルト云フコトハ餘リヒドイト思ヒマス故ニ、先ヅ二百五十圓位ノモノニ之ヲ落シマシテ、成ルベク民間ノ競争ヲ避ケテ、而シテ徐々ニ政府ハ民間ノ經濟ニ影響ヲ及ボサナイヤウニ……既設ノ保險會社ニ著シイ影響ヲ及ボサナイヤウニシテ、サウシテ徐々ニヤツテ五年十年經ツ内ニハ是ハ中々有効ナルモノニナツテ、ソコデ始メテ目的ヲ達セラレルト云フ風ニ、是ハ往キタイノデアリマス、政府ノ案見マスト云フト、中ミサウデナイ、立デルト云フト、直チニ非常ニ繁榮シテ政府ハ大成功デアルト云フ如キヤウナコトニナルデアラウト云フコトヲ思ツテ居ル、而シテソレガ裏面ニ於テハドウカト云フト、既設ノ會社ト競争シテ其營利ヲコナラフ方ニ取ツテ、サウシテ官營ヲ繁榮サセルノデアルト云フコトニナリハセヌカト云フコトヲ慮レルノデアリマス、故ニ是ニ付テハ二百五十圓ヲ極度トシタイト思フノデアリマス、付キマシテハ其簡易保險法ノ第三條ノ二項ニ

於キマシテ修正ヲ加ヘル、簡易生命保險ノ種類、被保險者ノ年齢、保險料及被保險者ノ爲ニ積立ツヘキ金額ノ計算ニ云々アリマス、其被保險者ノ年齢ニ云フ下ニ資格ト云フ字ヲ加ヘル、サウシテ保險ヲスルハノ資格ヲ定メタイ、或ハ職業ニシロ、又納税ノ高ニシロ、何シロ資格ヲ定メヌト是ハ下級社會ト云フコトニナラヌ、サウスルト「年齢、資格、保險料及被保險者ノ爲ニ積立ツヘキ金額ノ計算ノ基礎ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」、是ハ今日法令ヲ以テ定メタイト思ヒマスガ、何シロ一朝一夕ノ事デナイ、隨分難事デアル、ソレ故ニ我々ハ之ヲ勅令ニ譲リマシテ、サウシテ、政府ニ於テ下級社會ニ適當ナル方法ヲ以テ之ヲヤルコトニシタイ、ソコデ此資格ト云フ字ヲ入レルト云フコトニシタイ、ソレカラ第四條ニ「簡易生命保險ノ保險金額ハ二百圓以下トス」トアルノヲ、「二百五十圓以下トス」此ニツテ修正ヲシマシタナラバ政府ノ非營利……下級社會ノ爲ニト云フ意思ヲ貫クコトが出来、サウシテ民業ノ營利會社ヲ壓迫シテ著シキ影響ヲ及ボサセルト云フ上ニ付キマシテモ、稍、ソレヲ緩和スルコトが出来ルデアラウ、而シテ之ヲヤリマシテ、又五年十年ニ參リマシテ、愈ハ尙ホ擴張ゲルト云フヤウナ必要ガアルナラバ、其時ニ於テ徐ロニヤテ少シモ差支ナイノデアアル、今日之ヲ起スナラバ成ルベク其趣旨ヲ失ハナイヤウニ、下層社會ニ普ク行クヤウナコトニシテ、サウシテ民營ノ成ルベク壓迫シナイヤウニシテ之ヲ組立デルト云フコトガ、最も必要ノ條件ト思フ、即チ今日マデノ問題トナッデ居ルノモ、其點ニアリマス故ニ、私ニ此二個ノ修正ヲ以テ簡易保險ヲ贊成シマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 暫時休憩シマス、午後一時カラ……

午後零時八分休憩

午後一時二十三分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) 是ヨリ簡易生命保險法案外一件特別委員會ヲ午前二引續キマシテ開會イタシマス

○富井政章君 私ハ極ク簡單ニ意見ヲ述ベタイト思ヒマス、先程山本君ヨリ修正案ヲ提出セラレマシタ、私ハ本案ノ根本問題ガ起ルカト思ッテ居タノデアリマスガ、サウデナクシテ本案ノ趣旨ニハ反對スル方ハ殆ド無イヤウデアリマス、唯、其内容ノ一部ニ付テノ問題ト解シマス、修正案ハ洵ニ理由ノアル御尤ナル修正案ト私ハ解シマス、其内容ニ對シテハ反對デハナイノデアリマス、加入資格ニ制限ヲ付スルト云フコトハ誠ニ困難ナコトデアリマスケレドモ、若シ出來ルコトナラバサウ云フコトニナリタイト云フ意見ハ既ニ昨日モ述べタノデアリマス、殊ニ金額ヲ五十圓下ゲルト云フコトハ決シテ進シテ反對スル意見ヲ有タナイノデアリマス、昨日ノ懇談會ニ於テ遞信大臣ニ向ッテ再三申述ベタコトデアリマス、私ハ本案ノ施行ヲ切ニ望ム者デアリマスルケレドモ、成ルベク民業ニ影響ヲ及ボスコトガ少クシタイト云フコトモ望ムノデアリマスルカラ、此金額ヲ五十圓下ゲルト云フコトハ、一ツ是カラ政府ガ衆議院ノ同意ヲ得ラルヤウニ盡力スルト云フ約束が出来ナイノデアアルカト云フコトヲ再三紕シタノデアリマスルケレドモ、ドウモソレハ出來ナイト云フコトデゴザイマシテ、私ハ斯ノ如ク比較的重大デナイコトデアッデ相當ノ理由アルコトデアアルノニ、政府ガ其盡力が出来ナイト云フ意見ヲ固執セラレルノハ誠ニ遺憾デアルト

思フタノデアリマス、斯ノ如クニ修正案其モノニハ格別反對デハナイノデアアル、ソレニ拘ハラズ今採決ト云フ場合ニハ、私ハ修正案ニ反對スル地位ニ立タネバナラヌ理由ヲ有ツノデアリマス、誠ニ苦シイ、ソレハドウ云フ譯カト申シマスレバ極ク簡單デアアル、私ハ大體ニ於テハ本案贊成デアアル、ドウカシテ此新制度ヲヤッテ見タイト思フノデアリマス、ソレモ若シ此修正案ガ院議トナッデ衆議院ニ往ツタ所ヲ果シテ衆議院ガ之ニ同意スレバ宜シイ、同意セナイ場合ニハ貴族院ニ於テモ容易ク院議ヲ拋棄スルト云フコトモ出來ナイデアリマセウ、其場合ニ立至リマスルト、斯クマデ衷心此制度ヲ實行シテ見タイト云フ希望ガ終ニ達セラレナイコトニナル、即チ本案全體ガ潰レルコトニナル真ガアルノデアリマス、私ハサウ云フ意義ニ於テ、修正案其モノガ左マデ反對デナイノデアリマスルニ拘ハラズ、決テ御採リニナリマスルト云フコトニナレバ、已ヲ得ズ可トカ否トカ黒イトカ白イトカ、ドチラカニ決定シナケレバナラヌノデアリマス、サウナッテ來マスルト云フト唯今申ス所ノ本案全體ガ潰レテシマッテ、ドウカシテ實行シテ見タイト云フ此新制度ガ實行セラレナイコトニナルノヲ慮ルノデアリマス、一期クラ井後レテモ宜イデアハナイカト云フ風説モアルデアリマセウケレドモ、ドウモ一旦切リガ附キマスルト云フト、或ハ二年モ三年モ亦物ニナルト云フコトガムヅカシイカモ知レヌ、私ハドウカシテ此法律案ヲ實施スルコトニナリタイト思フ、サウシテ成ルベク民業ニ打撃ヲ加フルコトヲ少ナクシタイト思フ、其理由ハ先程仲小路君、桑田博士ヨリ詳細ニ御述べベニナリマシタ故ニ、私ナド專門デナイ者ガ言葉ヲ加ヘル必要ガナイト思フノデアリマス、詰リ下級ノ者ノ救済ノコトハ今日世界ノ趨勢デアアル、何レノ國ノ立法モ皆此方針ニ向ッテ進シテ往クノデアアル、是ハ近來ノ著シイ現象デアリマシテ、將來ノ社會狀況ヲ考ヘマスルト云フト、今ヨリ著々此方向ニ向ッテ往カケレバナラヌト堅ク信ズルノデアリマス、現ニ我國ニ於テモ貯金制度ノ擴張ノ工場法ノ制定トカ云フヤウナ、多少社會政策的ノ制度ガ設ケラレマシテ、段々此方針ニ向ッテ歩シテ往クノデアリマス、一足飛ビニ勞働保險トカ云フヤウナサウ云フ急激ナコトハ宜シクナイノデアリマス、著々先ツ漸ク以テ秩序的ニ進シテ往クト云フコトハ極メテ望マシイノデアリマス、唯其貧民保護ト云フコトガ標題ニモ現ハレテ居ナイ、内容ニモ現ハレテ居ナイ、ドウカシテ明カニ加入資格ニ制限ヲ附シタイト云フ御意見ハ誠ニ御同感デアアルノデアリマス、唯如何ニモムヅカシイ、ドウ云フ風ニ規定が出来ルカ、ムヅカシイコトデアリマスルケレドモ、出來ルナラバサウ云フコトニシタイ、サウデナイト萬一多少ノ濫用ガ生ズルカモ知レヌ、ソレハ私モ憂フルノデアリマス、サウシテ金額ヲ五十圓下ゲルト云フコトハ本案ノ根本ヲ動カスコトデモナク、サウシテ幾ラカ民業ニ對スル打撃ヲ緩メルコトニナルノデアリマスルノデアリマスルカラ、是ナドハ誠ニ穩カナ御意見デアリマス、先程モ申上ゲマシタ通り、政府ガ衆議院ニ向ッテ此金額ヲ下ゲルト云フコトニ同意ヲ得ルヤウニ盡クシテ見ヤウト云フ御考ナイノハ、本案ノ通過ニ御熱心ナルコトガ私共ホドデナイト云フコトヲ疑フノデアッテ、其御約策ノナイノハ誠ニ遺憾ニ存ズルノデアリマス、併シ今ハ修正案ノ善シ惡シヲ論ズル場合デナイト思フ、此法律案ガ根本的ニ惡ルイカラ廢スルトカ、或ハ是ハ如何ニモ善イ制度デアアルカラ多少ノ闕陥ガアデモ一ツ實施シテ見タイト云フカノ二ツ中ノ一ツデアアル、サウナリマスルト云フト是ガ或ハ法律トナラナイ真ガアルト云フコトハ、本案ノ成立ヲ希望スル者ニ取ッテハ最も苦シイコトデアリマス、修正案ガ假ニ通過ツタスレバ私ハ決シテモノガ惡ルクナッタトハ思ハヌ、法律案ハ

或ハ善クナツタノカモ知レマセヌガ、サウ云フ問題ハナイノ院議ノ問題デアリマス、向フモ院議ヲ固執スルデアリマセウ、コチラモ院議ヲ重シズル、サウ云フ場合ニ衆議院ハ容易ニ同意シマイ、然ラバト言フ貴族院モ一旦決議シタコトヲ容易ニ抛棄スルコト云フコトモ出来ナイデアリマセウ、サウシテ見レバ此法律ハ終ニ成立シナイト云フコトニナル、眞ニ腹ノ底カラ此法律案ノ成立ヲ望ムデアレバ、私ハサウ云フ危險ヲ踏ムト云フコトハ實ニシタクナイノデ、サウ云フ一種特別ノ意味ニ於テ實ニ本意ハナイノデアリマスルケレドモ、採決トナツテハ原案ノ方ニ起立シヤウト思フ

○水野鍊太郎君 私ハ本案ニ付テ意見ヲ述ベマスル前ニ、修正案ヲ御出シナリマシタ點ニ付テ一ツ御聽キシテ置イテ然ル後ニ意見ヲ述ベタイト思ヒマス、修正案ガ二ツアリマシテ、第二點ハ金額三百圓ヲ二百五十圓ニ下ゲルコト云フデアリマス、此修正ハ全ク民業トノ接觸ノ範圍ヲ少シシテモ少ナクシヤウト云フ趣旨カラ出タノデ誠ニ御尤モナコトト思フデアリマス、其趣旨カラ申シマスレバ民業トノ競争トナリ衝突トナル點ヲ少ナクスレバ少ナクスル程、本案ノ趣旨ガ貫徹シ又所謂今日マデ現存シテ居ル所ノ民業ノ爲メニモナルコト、思フ、ソレデアリマスルカラ或ハ極端ヲ申シマスレバ百圓以下ト云フコトガ道理ニ合フコトト思フ、ケレドモハ餘リ極端デアリマセウカラ少ナクモ二百圓以下トスル方ガ尙ホ道理ニ合フアラウト思フ、ソレヲ二百圓トシナイデ二百五十圓トナサレタノハ或ハ計算上ノ點モアラウト思フデアリマセウケレドモ、ソレハ如何ナモデアリマスルカ、已ムヲ得ズ其處ニ至ルコトニナリマシタカ、ソレヲ一應承シテ置キマシテ意見ヲ述ベタイト思フデアリマス

○山本達雄君 私ノ此修正意見ヲ申述ベマスル時ニ於キマシテ自身ノ望ム所ハ成ルベク民間ノ營利保險會社ト利益ヲ爭ハヌヤウニ向ケタイ、ソレニ付キマシテハ此額ヲ出來ルダケ減シタイ、併シソレモ程度ノアルコトデアリマスカラシテ先ヅ二百圓位ニシタイト斯ウ思フデアリマス、ソレ故ニ是マデ政府委員ニ伺ヒマシテ其邊ノコトニ付テ再ニ質疑ヲ致シマシタガ、斯ク相減シマス上云フト、一體ノ豫算ニ付テ非常ナ狂ヒヲ生ジテ來テ、ソレデアリ政府一體ノ經費ノ上ニ付テ容易ナラヌ狂ヒヲ生ズル、ソレ故ニソレハ同意シ難イコト云フコトデアリマシタ、ソコデ本來ハモウ少シ時ガアリマスルコト云フコト十分ニ其邊ノコトニ付テモ實際ニ應當ヲシテ熟考シタイト思フデアリマス、如何ニモ會期切迫シテ更ニ餘リ自身ノ希望ヲ貫徹スルコトニ努メマスル、遂ニハ肝心ナ案ガ不成立ニ終ルト云フガ如キ虞ヲ持ツデアリマス、即チ其點ニ於テ富井博士ノ申ス如キ考ヲ持チマス、ソレ故ニ成ルベク辛抱ノ出來ルダケ忍ンデ、サウシテ無事ニ維持ヲ圖ルト云フコトガ必要デアラウト思ヒマス、ソレ故ニ二百五十圓位ナラバ競争ノ點ニ付テモ幾分カ減殺スルコト云フ關係ノ爲ニ二百五十圓トシナイデアリマス、本來ハ二百圓カ、マダシモ少クシタナラバ尙ホ宜イコト考ヘテ居ル、唯大體ノ此主眼タル官營ノ行ハレヌコトヲ氣遣フ爲ニ、忍ンデ二百五十圓ト云フコトニ額ヲ上ゲタ次第デアリマス

○荒井泰治君 私ハ此修正案ニ贊成ヲ致シマスル者デアリマスルガ、元來本案ハ事實ノ問題デゴザイマシテ、此案ヲ發表セラレタ所ノ御趣意ニ付テ遞信大臣ノ説明セラレマス所、又政府委員ノ説明セラルル所ヲ拜承イタシマシテモ此社會政策ノ一端ニ之ヲ當テ、若ハ其階級ニ之ヲ供スルト云フ御趣意ニ至リマシテハ、勿論私共モ贊成ヲ致シテ

居リマスル次第デゴザイマスガ、此案トシテ現ハレマシタル組織ニ付テ段々考究ヲ致シマスルコト云フ遺憾ナガラ之ニ反對セザルヲ得ナイノデゴザイマス、私ハ案ノ大體ニ勿論贊成スルノデハゴザイマセヌ、御趣意ニ贊成イタシマスケレドモ、此案ノ大體即チ案ニ付テハ寧ロ全部反對ヲ表シタイノデゴザイマス、ソレハ餘リ突飛ナヤウデゴザイマスケレドモ、御趣意ハ能ク了承イタシテ居リマス、併ナガラ此案ノ生命ハドコニ在ルカト言ヒマス上云フト、現ニ行ハレテ居リマスル所ノ多數ノ保險會社ニ對シテドウ云フ影響ヲ爲スカト云フコトガ最モ大切ナル問題ニナルガ、若シ現在我國ニ於テ保險會社ガ假リニナイトシテ而シテ新タニ斯ノ如キモノヲ御施行ニナリマシタナラバ、御發案ニナツタ趣意モ、又案ノ内容モ總テ是ガ完全無關ナルモノデアアルニ違ヒナイノデゴザイマス、如何セシ一方ニ數十年ノ經驗ヲ積ミマシテ多額ナル被保險人ヲ有シ、而カモ是等ノ種々ナル經驗ヲ經マシテ、段々或ハ淘汰セラレ、或ハ改良セラレ、今日ハ立派ナル機關トナリマシテ、單リ此保險ノ理論上ニ於テ合スル機關ノ體ヲ具ヘルノミナラズ、其發達ハ既ニ十一億圓ノ被保險料其他ノ保險料モ產スルニ至リマシタ如ク發達シタノデアリマスガ、其盛衰ハ矢張り等シク此日本ノ經濟上ノ大體ニ非常ナ影響ヲ持ツテ居ル重要ナル位置ニナツテ居ルノデゴザイマス、其際ニ當ツテ此案ヲ發セラレタ案ノ御趣意ハ宜イガ、其骨子トスル所ハドコニ在ルカト云フコト、即チ此被保險者ノ資格ニ付テドウアラウカ、又金額ニ付テドウアラウカ、此二ツノ表面上ノ理論カラ申シマシタナラバ、誠ニ些々タルモノニ見エマスルガ、事實研究ヲ致シマスルコト云フト、此二ツガ即チ大體ノ趣意ノ如何ハ即チ此保險ノ效能ガドウアラウ、又社會ニ及ボス所ノ利害ハドウナルカト云フコトノ即チ判斷ノ分ル所ガ此二點ニ歸スルノデゴザイマス、而シテ段々數日ノ質問ヲ重ネマシタノデ、其邊ノ所ハ諸君モ先ヅ御考究ニナリ、又私共モ政府委員ノ鄭重反復ナル御説明ヲ拜聽イタシマシタカラ大半ハ了解イタシテ居リマスノデ、茲ニ事ニシク又述ベマスル必要ヲ認メマセヌカラ暫ク省略致シマスガ、此今度修正案トシテ提出イタサレマシタモノニ付テ考究イタシマスルコト、是ハ政府ニ於テモ喜ンデ御同意ノアルベキ案デアラウト思フノデゴザイマス、現ニ十數年來此問題ニ付テハ政府當局ニ於テモ御攻究ニ御攻究ヲ重ネラレマシタ其結果昨年御發布ニナリマシテ、廣ク全國ノ縣知事及ヒ商業會議所ニ向ツテ御諮問ナサレタ案ハ如何デアアルカト省ミレバ、即チ金高ハ二百五十圓ニシテアル、而シテ此加入資格ノ制限ハドウナルカト見マスレバ、直接國稅十圓以上納ムル者ハ割戻ヲ受ケサセナイ、即チ此下級民ト見做ス所ノ納稅ノ資格ノナイ者ニ向ツテハ二割ノ割増金ヲ附スル、即チ其御説明ヲ讀ンデ見マスルト、此法案ヲ布クニ付テ既設ノ會社ニ非常ナル影響ヲ與ヘルデアアル、其影響ノ弊害ヲ除去セシガ爲ニ斯様ナル方法ヲ講ズルデアアルト云フコトガ明記セラレテアリマシテ、至極之ニハ苦心セラレタ結果デアラウト思フノデゴザイマス、斯様ニ一面ニ於テ金額ニ於テハ此度修正スル金額モ同ジク二百五十圓デアアル、而シテ又資格ト云フ點ニ於テモ納稅者ノ如何ニ依ツテ二割増ノ恩典ヲ一方ニ與ヘル即チ下級民ニ對シテノ恩典デア

ル、而シテ納稅者ノ中流以上ト見做ス者ニ向ツテハ割増金ヲ付ケテ始メテ割デゴザイマスカラナカク、多額ナモノデアアル、斯様ナ明瞭ナル區別ヲ付ケテコソ始メテ是ガ社會政策ノ一端デアアル、下級民ヲ救済スルモノデアアル、即チ是ガ方法デアアルト云フコトガ此ニ實現サレタルノデアアル、然ルニ此度御提出ニナリマシタ案ニ依リマスルコト云

フト、金額ハ上ツテ二百圓トナル、而シ此割増金ト云フモノガ除去セラレテ居ル、即チ此精神ヲ全ク取去ラレタモノト私ハ言フ所アリマス、而シテ政府委員ノ御説明ニ依レバ、簡易保險ト普通保險トハ其性質ヲ全然異ニスルモノデアルト云フコトヲ縷々御説明ニナリマシタガ、此内容ニ立チ入ッテ此度御提出ニナリマシタ案ニ付テ研究ヲ致シマシタナラバ、性質ガ違フト云フノハドコガ違フカ私共ニハ一向分ラナイデアアル、最初御諮問ニナリマシタ案デゴザイマスルト、前申上ケマスル通り割増金ノ關係、又金額ノ關係ニ於テモ性質ハ違フト見ラレマスルガ、此度ノ案ニ依リマスルト云フト、違フト云フコトハ此身體検査ヲヤラズシテ無試験デアルト云フコトガ違フテ居ル、ソレカラ之ニ對スル所ノ費用ハ、印紙稅モ要セズ、郵便稅モ附加シナイト云フ所ガ違フテ居ル、ソレハ形式デアル、扱ヒニ於テ便法ヲ唯與ヘラレタノミデアアル、又被保險者ニ對シテ如何ナル點ガ普通保險ト違フカト云フト少シモ違フテ居ラス、當リ前ノ保險料ヲ拂ツテ、而シテ普通保險會社ガ矢張り行ッテ居ル保險金額ヲ養老若クハ終身ニ於テ受ケテ居ルト云フコトニ止ッテ居ル、強イテ違フ所ノ點ヲ申シマシタナラバ是ハ普通會社ト競争スルノニ便利ガ宜イノガ違フテ居ルト、營業者ナドハ申スカモ知レヌト思フデゴザイマス、故ニ其實質ニ於テハ更ニ違フ所ハナイデアアル、斯様觀シ來リマスレバ即チ此度ノ修正案ト云フモノハ、即チ政府ガ多年御攻究ニナリマシタ所ノ、御諮問ニナツタ案ト寸毫モ違ハナイ、勿論私共ノ考モ寧ロ自分等ノ理想トスル所ヲ申述ベマスレバ、此保險金額ニ於テモ二百五十圓デハ少々事足りナク思フテ居ルデアアル、或ハ百五十圓、多クモ二百圓ニ打止メタイト思フテ居ルデゴザイマス、又資格ノ如キニ至ッテモ果シテ此下級民ヲ救済スルノ趣意ニ出デルトスレバ、之ニ向ッテハ割戻シノ如キモ少シ強クシタイモノデアアル、而シテ此直接國稅ノ十圓ト云フ所ヲ五圓位ニ制限シタイノデアリマス、ソレハ我々ノ理想デアアル併ナガラ左様ナ理想ノミヲ以テ此社會ノ現狀ニ應ズルト云フコトハ到底行ハレナイコトデゴザイマセウカラ、縱シ行フシテモ又多少ノ弊害ガアルコトデゴザイマセウカラ、數歩ヲ譲リマシテ、政府ガ多年御攻究ノ結果產ミ出サレタル所ノ御案マデハ同意ヲ申上ケル、是デアアルナラバ政府モ研究サレタ所デアアルカラ是ハ敢テ御異議ナイコトデアラウト信ジマスノデ、昨日ナドモ懇談會ヲ御願ヒシテ種々御交渉申上ケマシタガ、遂ニ是モ纏リマセヌノハ甚ダ遺憾ト致ス所デゴザイマス、而シテ我々ハ虚心平氣デ考ヘマシタナラバ、此案ノ如キハ宜シク衆議院ニ於テ、私共ガ述べルガ如キ趣意ニ依ッテ是ハ修正セラレテ來ルベキモノデアラウト實ハ信シテ居タデアアル、又縱ンバ……衆議院ノ修正案モ速記録ヲ見マス

ト隨分出テ居リマスガ、之ニ對スル政府ノ御答辯モ餘リ御強硬デアツテ、遂ニ修正モ成立タズニ至ツタト云フコトハ私共甚ダ遺憾ニ感ズル所デゴザイマス、併ナガラ衆議院ヲ通過シテ現ハレテ來タ、之ニ修正ヲ加ヘタ所ガ日ニチモナイノデアアルカラ、即チ案ガ潰レデハナイカ、而カスレバ仕方ガナイカラ大本體ニ基イテモ贊成スルヨリ外ナイト云フ御論ガ大イニ又アルヤデゴザイマス、私ハソレハ了解ニ甚ダ苦シムモノデアアル、新タニ是ガ改更スル仕事トカ何ト云フコトデゴザイマスナラバ、サウ御急ギニナルコトハ宜シウデゴザイマスガ、新タニ起ス事柄ハ研究スベキ餘地モ多クデゴザイマセウ、而シテ目前ニ斯様々ナル弊害ガ之ニ伴フト云フコトハ、即チ此委員會ニ於テモ列舉サレテ居ル所デゴザイマスカラ、縱シ弊害ガアツテモ、潰シテハ仕方ガナイカラ先ツアラウデハナイカト云フコトハ、新タニ事

ヲ起スモノニ對シテノ私ハ手段デハナカラウト思フデアアル、即チ一利ヲ與スヨリハ一害ヲ除クニ若カズ、新タニ起スモノハ餘程慎重ナル態度ヲ執ツテヤリマセヌケレバ、其結果隨分恐レベキコトガ起ツテ來タ場合ニ何トモ仕方ガナイデアアル、而カセムヨリハ寧ロ一年ナリ二年ナリハ後レルデアリマセウケレドモ、後レテモ社會ノ疑問トナツテ居リ疑問トナツテ横ッテ居ルモノナラバ、寧ロ是ハ後レテモ慎重ノ態度ヲ以テ御詮議ニナツテ弊害ノナイコトニナスツタ方が、私ハ至極至當ノコトデアラウト思フデアリマス、又一步進メマシテ是ガ社會政策ノ上ニシドウデアラウカ、斯ウデアラウカト云フ桑田君ノ御論モゴザイマシテ、之ニ向ッテモ私共ノ所見ヲ申述ベタイノデアリマスガ、是ハ寧ロ理論ニ互リマスルコトデ、私ハ此問題ヲ以テ實際問題ト致シ、即チ此保險金額、及ビ資格ト云フコトガ此案ノ生命デアルト信ジテ居リマスルカラ、偏ニ此點ダケニ向ッテ説明ヲ致シ、又此修正案ニ贊成スル趣意ヲ申述ベル次第デゴザイマス

○鎌田勝太郎君 私モ簡單ニ自分ノ意見ヲ述ベヤウト存ジマス、大體此案ノ趣旨ニ付キマシテハ大イニ贊成ヲ表シテ居ル者デアアル、然ルニ案ノ出來方ガ宜シクナイガ故ニ、度々當局大臣、及ビ政府委員ニ向ッテ案ノ拵ヘ方ニ付テ伺ツタ次第デアアル、然ルニ遞信大臣ハ飽マデモ自己ノ意志ヲ頑固ニ守ラレマシテ一步モ譲ラナイ、斯ウ云フコトカラシテ質問ガ長クナツタデアリマス、此案ニ向ッテ社會政策ガドウデアルトカ、貧民ノ救助ニナルノガドウデアルト云フヤウナ議論ハ、寧ロ無用ナ議論デアアル、ソレ位ノコトハ誰デモ知ッテ居ル、小學校ノ生徒デモ知ッテ居ルコトデアアル、サウ云フヤウナ抽象的ノ議論ハ此委員會ニ於テ議論ル必要ガナイデアアル、唯此案ヲ實施シテ今日ノ社會ニ害ガドレケアルカ、害ガアルトシテモ成ルベク其害ヲ抑クシテ行カナケレバナラス、既設ノ民營ニ差支ハセヌヤウニシテ、細民ノ保險ト兩々相俟ツテ、國益ヲ圖リ國民ノ幸福ヲ増進スルト云フコトニナラナケレバナラス譯デアアル、政府委員ノ松本君ナドハ頻リニ一步モ譲レヌト仰シヤルガ、是ハ御尤ナコトデ、松本君ガ一步モ譲レヌト云フコトハ私ハ御同感ヲ表スル、然レドモ政治家タル遞信大臣ガ一步モ譲ラヌト云フコトガアツテハ甚ダ其意ヲ得ヌ次第デアアル、此目的ガ細民ノ救助、社會政策ノ一部トスレバ、其片方ニ於テ既設ノ民營ノ會社ニ障ラヌダケノ程度ニ於テ出來ルデアアル、其障ラヌ程度ニ於テ出來ルモノヲ、強ヒテ障ッテモヤラウト云フノダカラ甚ダ宜シクナイト、斯ウ言フ所以デアアル、ソレデ政府委員ハ主トシテ百圓以下ヲヤル、百圓以下ヲヤルナラバ金額ヲ下ケテモ宜シイ次第デアアル、政府ハ決シテ競争ノ地位ニハ立タナイ、競争シテモ構ハヌナラバ百圓デモ宜シイト仰シヤル、所ガ政府ガ競争シナイト云フコトハ果シテ信用ガ出來ルカドウカ、私ハ遺憾ナガラ信用ハ出來ナイノデアアル、ソレハ政府ニツレダケノ信用ヲ有タヌト云フコトハ甚ダ國民トシテ殘念ナ次第デアアルガ、實歴ガ多クアルデアアル、現ニ特殊銀行ナルモノヲ拵ヘテ政府ガ特別ノ方法ヲ以テ保護ヲシテ、サウシテ是ハ一般銀行ト特別銀行トノ營業ハ違ツタモノトシテ始メタ、所ガ年ヲ經ルニ從ッテ其特殊銀行ガ何時ノ間ニカ普通銀行ノ業態ヲシテ居ル、サウ云フ實例ガアル、ソレデ政府ハ競争セヌト言ツテナニ安心ガ出來ルカ、又鐵道ニ於テモ左様デ、鐵道ノ競争線ハ是ハ許サナイ、政府ノ數イテ居ル鐵道ノ競争線ヲ民間カラ、電車ノ會社ナリ願ツテ出テモ政府ハ決シテ許サヌノデアアル、然ルニ政府ハ何ツヤ自分ガ民營ニ競争ヲシテ居ル、現ニ京濱ノ電車ノ如キ民間カラ願ツタ時分ニハ競争線ハ

許サト言フ、而シテ政府ノ御都合デハ民營會社ト競争ナサルノデアル、左様ナ實  
歴ノアル政府ニ向テ決シテ競争ラセヌノダカラ二百圓ニ置イテ宜シ、競争ハ構ハヌナ  
ラバ百圓ニ或ハ下ゲテモ宜シ、斯ウ言ハレテ左様デゴザルカト信用ハ出來ヌノデアル、  
何モ議論デハナイ事實ガ證明シテ居ルノデアル、ソレカラ一步ヲ退イテ政府當局大臣ハ  
競争スル意志ガ無イト見マシテモ、斯様ナルコトハ下級ニ至ルホド其念ガ厚クナル、是ハ  
之ヲ統率スル貯金局長、ソレカラ其枝タル郵便局、誰デモ商賣ヲヤルト少シデモ他ヨリ  
保險ヲ取ラウト云フコトニ熱中スルニ決マッテ居ル、ソレノミナラス、過日モ質問ノ時ニ申  
述ベマシタガ、政府ガ租稅ヲ取ル上ニ於テ地租ノ如キ決マッテ居ルモノハ仕方ガナイガ、所  
得稅若クハ營業稅ノ如キ收稅吏ノ手心デヤレモノハ隨分苛察ニヤッテ居ル、實ハ大藏  
大臣ニ其地方ノ狀況ナドヲ私ガ述ベルト、決シテサウ云ウ意志デハナイト、斯ウ云フ大  
藏大臣ハサウ云フ意志デハナイカモ知レヌガ、大藏省カラ各監督局ニ向テ通知ヲ發シ、  
監督局ハ收稅署ニ向テドウスル、マルデ各收稅署ガ競争スルヤウナコトヲサセテ居ル、サ  
ウシテ年末ニ償與ヲヤル、此償與ハ即チ收斂ヲ多クシタ者ニハ多ク賞與ヲヤルヤウニ見エ  
ルノデアル、租稅スラ猶ホ斯ノ如キモノデアル、シテ見レバ一箇ノ事業デモ、如何ニ非營  
利ノ事業ト云フモノノ保險屋ヲ始メタ以上ハ、必ズ競争ニ陥リ易イト云フコトハ已ムヲ  
得ヌラウト思フノデアル、故ニ政府ガ競争ヲシナイト云フコトハ私ニ於テハ決シテ信用ガ  
出來ナイノデアル、故ニ此際ニ於テ金額ヲ減ズト云フコトハ最モ適當ナル修正案デアル、  
而シテ又中等以下ノ細民ノ救助ヲ目的トスル法律案デアルナラバ資格ヲ附ケテ置イテ、  
サウシテ山本君ノ述ベラレル如ク相當財產ガアリ、若クハ高等官ナドト云フ者ニ斯ウ云フ  
モノニ這入ラセヌヤウニスルト云フコトハ大イニ良イコトデアラウト考ヘマス、尙ホモウ一言  
桑田君ノ說ニ付テ申シテ置キタイノハ、誠ニ桑田君ハ溫厚ノ御方デ舊ルイ友達デゴザ  
イマスガ、先刻隨分ヒドイコトヲ仰シヤッタ、公益ヲスル爲ニハ私利ヲ壓迫シテモ宜シ、  
斯ウ云フノデアル、ソレカラ又此案ヲ強ヒテ修正スルトカ反對スル人間ハ保險會社カラ頼  
マレタノゴト云ハレタガ、是ハ實ニ驚イタ議論デアル、餘リソノ我ヲドウ云フヤウニ見テ居  
ルノデアルカ友達甲斐ノ無イ人間デアルト思フ、ソレハ場合ニ依レバ公益ノ爲ニハ私利ヲ  
蹂躪スルト云フコトモアリマセウ、ソレハ已ムヲ得ヌ場合ニハ……私利ヲ害セズ而カモ公  
益ガ行ハレルト云フ法ガアレバソレニ依ツタラ宜シ、ソレヲ私利ヲ壓迫セズニ公益ガ行ハ  
レル方法ヲ講ゼシテ、何ンデモカンデモ公益ダカラ私利ナンカハドウデモ宜シイト云フ、是  
ハ學問ノ優レテ居ル人ノヤルコトデ我々普通ノ人間ハソレハ出來ナイ、先ヅ大體ニ於テ  
斯様ナル理由デゴザイマスカラ、資格ヲ附ケルト云フコト、金額ヲ減ラスト云フコトハ、  
是非必要デアラウト思ヒマス、而シテ金額ヲ減スコトニ付キマシテハ山本君ト多少意見  
ガ違ヒマスレドモ、餘リ修正說ガ澤山出マスト勢力ニ關係シマスルカラ、先ヅ山本君  
ノ說ニ從ッテ山本君ニ全然贊成イタシマス、若シ此修正案ニ對シテ不都合ト云フ御意  
見ヲ拜聽イタシマスレバ又更ニ陳辯ヲ致シマス

○小松謙次郎君 私ハ大體原案ニ贊成スル者デアリマス、而シテ諸君ノ御提案ニナリ  
マシタ修正案ニ反對ヲ致ス者デアリマス、實ハ先刻カラ反對論ノ重モナル御趣意ヲ拜聽  
イタシタイト云フ希望デ差控ヘテ居リマシタノデアリマシタガ、不幸ニシテ我々ノ政友タル  
前田子爵ガ其言論ヲ御控ヘニナリマシテ終ニ其說ヲ伺フコトガ出來ナカッタ、又山本君

ニアリマシテハ當初ノ御趣意ハ大變反對ノ御論デアリマシテ、結局前田君ト御同說デハ  
アルマイカト期待イタシテ居リマシタ所ガ、是ハ私ノ豫期ニ反シテ謂ハル泰山鳴動シテ  
鼠一正ノ様ナ感ヲ起シタノデアリマス、併ナガラ免ニ角私共ノ論ニ非常ニ近ヅイテ來タト  
云フコトニ付テ感謝ノ意ヲ表サナケレバナラヌノデアリマス、他ノ諸君ノ御論ヲ承ハリマシ  
テ大體御趣意アル所ハ稍々了解シ得タノデアリマス、本來ナラバ諸君ハ悉ク本案ニ反  
對ヲ表シタイト云フ御考デアラルシク見エルノデアリマスガ、其通過ノ御都合ヨリ致シテ  
此修正案ガ出タト云フコトハ唯今鎌田君ノ最後ノ御演說ニ於テ之ヲ諒知スルコトガ出來  
タノデアリマス、即チ御論旨ト此御提案ト云フモノト兩立セヌノハソコニ在ルデハナイカト  
考ヘルノデアリマス、實ハ之ヲ贊成スル理由ニ至リマシテハ、今朝我黨ノ仲小路君ヨリ  
詳細御說明ニナリマシタノデ、實ハ之ニ蛇足ヲ添ヘル必要ハナイノデアリマス、併シナガラ  
私ガ一言茲ニ批評ヲ加ヘテ見タイト思フノハ、諸君ノ御說ノ中デ民業壓迫ト云フコト  
ニ付イテ非常ナ重キヲ御置キニナッテ、サウシテ之ニ對スル詳細ノ御論ヲ承ハルコトガ  
出來タノデアリマスレドモ、此議論ノ爲ニ何モノガ幸福ヲ得テ居ルデアルカ、即チ此  
我々ノ主張スル所ノ多數ノ國民ノ利害ト云フコトニ付テハ、ドウ云フ御論ヲナサルノデ  
アルカト云フコトヲ私ハ伺ヒタイノデアリマス、成ホド民業ニ多少ノ壓迫ノアルコトハ、私  
モ諸君ト共ニ及バズナガラ其論ヲ明カニスルコトガ出來ヤウト思フノデアリマス、併ナガラ  
餘リ民業壓迫ト云フ聲ノ下ニ此諸君ノ論ヲ實行シタナラバ、其害ヲ受ケル所ノ人間ハ如  
何ナル者デアアルカト云フコトヲ私ハ伺ヒタイノデアアル、元來此案ト云フモノハドウシテ出來テ  
來タカ、是ハ從來ノ鞏固ナル保險會社ガ自分ノ會社ノ利益ヲ圖ルガ爲ニ、諸君ノ謂ハ  
ル細民ト云フモノヲ顧ミナイ結果カラ起ツテ來タ、是ハ事實ニ於テ證明スルコトガ出來  
ル、抑、保險ノ創業ノ際ニアリマシテハ、各國會社トモ何レモ小額ノ保險ヲ勸誘イタシタモ  
ノデアリマス、私モ暫ク御承知ノ如ク遞信省ニ居リマシテ、郵便貯金ナドノ勸誘ニハ相  
當ノ盡力ヲ致シタモノデアリマス、ソレ等ノ關係上、保險會社ガ如何ナル盡力ヲ致シテ  
居ルト云フヤウナコトモ絶エズ承知ヲ致シテ居ルノデアリマス、其當時ニアリマシテハ彼等  
ハ如何ナルコトヲ致シタ、皆工場へ出張シテ、サウシテ自分ノ保險ノ效用ヲ述ベテ、成ル  
ベク細民ヲシテ之ニ加入セシメヤウト云フコトヲ大ニ計畫イタシタノデアリマス、此時代ニ  
アリマシテハ幾ラカ私共モ貯金ノ獎勵ニ害ガアリハセヌカト思フ位ニ、相當ニ盡力ヲ致シ  
タノデアリマス、唯今ノ明治生命ト云ヒ、帝國生命ト云ヒ、或ハ日本生命ト云ヒ、其他  
苟モ天下ニ鞏固ナル會社トシテ認メラレタ所ノモノハ、何レモ整々堂々各工場ニ於テ諸  
君ノ謂ハル細民ヲシテ保險ニ加入セシメ得ルヤウニ盡力ヲ致シタノデアリマス、然ルニ今  
日ハ如何デアリマス、是等ノ鞏固ナル會社ハ何レモ制限額ヲ五百圓以上ニシテ仕舞ッテ  
居ル、酷イチャアリマセヌカ、五百圓以內ノ謂ハルニ二百圓程度ノ保險ヲ受ケタイト思  
フデモ是等ノ會社ハ受付ケナイノデアリマス、規則トシテ受付ケナイノデアリマス、ソレガ  
日本ニ於テ最モ有力ナル而カモ鞏固ナル確實ナル會社デアアル、若シ是等ノ會社ニシテ今  
日マデ相當ノ努力ヲシテ居ッタナラバ、政府ガ之ニ對シテ何カ嫉妬ノ計畫ヲ起スト云  
フコトハソレハ非常ニ不都合ナ話デアリマス、民業ヲ壓迫シテ甚ダ不都合ナ話デアリマ  
ス、然ルニ彼等ハ如何デアリマス、既ニ自分ノ計算ニ非常ニ不利益デアッテ、又自分ノ  
會社ノ鞏固ヲ害スル、斯様ナル理由ヲ以テ順次其額ヲ高メテ今ヤ五百圓以上ナラデハ契

約ヲセヌデアリマス、今日尙ホ定款ノ上ニ於テハ三百圓以下ノモノヲ契約シ得ルモノハアリマス、ソレハ諸君ノ御述ベニナル通りデアリマス、併ナガラ是等ノモノト雖モ已マ得ズシテヤテ居ル位ノ程度ノモノデアアル、順次其額タルヤ段々減少シテ來テ居ル、是ハ統計明カニ分ツテ居ル、政府ノ提出シタル統計ニ依ルト明治三十九年頃ニアリマシテハ、此各社ノ引受ケタ平均ガ三百二十七圓デアリマス、政府ノ行ハムトスルモノ稍、近イ、即チ三百二十七圓デアリマス、明治三十九年ニハ左様デアリマスガ、十年後ノ今日ニ至リマシテハ是ガ五百八十三圓ト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ新契約ノ分ヲ以テスルト明治三十九年頃ニハ既ニ四百十八圓ニナツテ居ル、ソレカラ大正三年度ニ至リマシテ七百三十三圓ト云フコトニナツテ居ル、此事實ハ何ヲ語ル、多數ノ國民ヲ見棄テタト云フコトヲ是ハ證明シテ居ルデアリマス、マダ外ニ諸君ニ御目ニ掛ケルモノガアル、ソレハ何事デアル、大正三年度ニ於テ三百圓以下ノ保險契約者ハ何人アル、僅ニ五萬八千八百一十一人シカナイ、是ガ二十餘社ノ總テノ統計ガタツタ五萬八千幾ラデアアル、彼等ガ直接ニ影響ヲ受ケルデアラウト主張スル所ノモノハ僅ニ此六萬人足ラズノモノデアリマス、非常ニ影響ヲ受ケルト云フモノハ何デアルカト言ヘバ、直接ニ影響ヲ受ケルノハ是レナンバアリマス、若シ政府ガ斯ウ云フ提案ヲシテ居ラナカッタバ來年アタリハドノ位ニナリマセウ、恐ラクハ此數ハ既ニ唯今統計申述ベマシタ如ク非常ニ又減ツテ來ルニ相違ナイ、斯様ニシテ見棄テラレタル國民ノ數ハドノ位アル、反對黨ノ諸君カラドウカ私ハ其證明ヲ願ヒタイ、此國民ヲドウナサル、私ノ眼カラ見ルト云フト、民業壓迫トハソレハ何ノコトデアリマス、民業壓迫デナシ、民業ガ官業ヲ壓迫セムトシツツアル、將來ト雖モ尙ホ定款ニ普通ノ保險トシテ三百圓以下ヲ持ツモノガアルデアリマス、ソレハ此簡易保險ニ對シテハ相當ノ競争ニナルト云フコトヲ寧ロ我々ハ論ジタイト思フ位デアリマス、苟モ此國民全般ノ利益ヲ圖ル、此計畫ニ對シテ民業壓迫ノ聲ヲ以テ之ヲ瞞過シ去ラムトスルノハ甚ダ酷イデヤナイカト私ハ思フノデス、併ナガラ諸君ガ案通過ノ關係ヨリシテ、我々ノ提案ニ略々似タル如キコトニ近ヅイテ來タト云フコトハ先程申述ベマシタ如ク、我々ノ大ニ感謝スル所デアリマス、併ナガラ此既ニ三百圓ガ民業ニナルトカ、二百五十圓ナラバ我慢ガ出來ルトカ云フヤウナコトハ既ニ問題トシテハ甚ダ些細ナ問題デハナイカト思フデアリマス、私ノ考ニ依レバ是ハ若シ政府ノ提案ガ二百五十圓デアリマシタナラバ、ソレハソレモ宜シイデアリマス、苟モ今日活政治界ニ立ツテ居ッテ、サウシテ今ノ時機ガ如何ナル時機デアルカト云フコトヲ承知シテ居ル位ノ人ハ、今日此場合ニ於テ何カ修正案モ提出シテ、サウシテ兩院ノ間ニ其意見ノ衝突ヲ來サセザルヤウナコトヲ策スル者ガアリトスレバ、ソレハ恐ラクハ豫テ其心裡ニ於テ根ガ反對ナラバ、國民ハ如何ニナラウトモ、自分等ノ計算サヘ好ケレバ宜イト云フ主張ヲ有ツ所ノ人デアリマス、私ハ斯様ナコトハ甚ダウモ宜サヤウナコトヲ策セラレルノデハナイカト思フデアリマス、私ハ斯様ナコトハ甚ダウモ宜シクナイコトト思フデアリマス、既ニ政府當局ハ縱令此本文ニ三百圓トアルトモ、決シテ自分ガ出來ヌト云ヘバヤラナイト云フ方法ヲ以テ相當ノ額ニ止メルト云フコトヲ殆ド言明シテ居ルデアリマス、場合ニ依レバ必ズ其コトハ實行シ得ルコト私ハ考ヘテ居ル、若シ最初ヨリ提案スルモノデアリマシタナラバ是ハ二百五十圓、大ニ贊成シテ宜シイ、決シテ五十圓ノ爲ニ此案ノ潰レルト云フヤウナコトヲ我々ハ希望スル者デハナイデアリマス、

ス、從ッテ今日私が原案ヲ贊成スル所以ノモノモタツタ五十圓ノ爲ニ此折角諸君ガ、腹ハ如何カ知ラヌガ、表面ニドウカ此通過ヲ圖リタイト言ハレル其事柄ヲ無クシテシマウト云フコトハ實ニ遺憾ナコトト私ハ感ズルデアリマス、二百五十圓ノ修正ニ對シテハ即チ私ハ大ナル意見ノ相違ハ持タヌデアリマス、唯今日原案ヲ贊成スル所以ノモノハ、ドウカ政府ニ於テモ諸君ノ意見ノ通りニスルト云フデアリマス、何モ其形ヲ必ズシモ御矯メニナラナクテモ宜イデアハナイカ、ソレガ爲ニ衆議院マデ送ツテサウシテ兩院ノ爭異議ヲ起サセルニハ當ラヌデアハナイカ、本年ノ議會ハ隨分色々ノモノヲ吞ミモシ吐キモシ相當ニ是マデ兩院ノ間ノ感情ニ付テモ、融和セザル點モアルヤウニ見受ケテ居ルデアリマス、斯様ナ際ニ斯様ナ小問題ヲ以テサウシテ折角アナタ方ガ贊成シテ居ル問題ヲ、ソレガ爲ニドウモマツクスルト云フコトハ甚ダ面白クナイデアハナイカ、之ヲ持ッテ往クト云フ事柄ガ、既ニ相當ニ意見ノ衝突ヲ誘起スル所以デアハナイカト私ハ思フデアリマス、ソレガ爲ニ金額ニ對シテサホドノ間隔モナシ意見モナイデアアルケレドモ、此處ハドウカ折角ソレマデ御讓リニナツタナラバ目ヲ御ツムリニナツタナラバ、其代リ私ハ受合フ、政府ヲシテ決シテ二百五十圓以上ヲ募ラセヌコトニシヤウデヤナイカ、恐ラクハ政府ヲシテ其事ハ説明サセテモ宜シイ、政府ニ其事ヲ明言サセテモ宜シイ、苟モ公ニ明言シタルコトデ政府ガソレヲ議員瞞著シテサウシテヤラナイナドト云フコトハアルベキ筈ハナイ、ヤッタヤッタソレニ對スル手段ハ自ラアラウト思フ、苟モ事實ニ於テ決シテ諸君ノ心配スルコトガナシ又諸君ノ主張スル通りニシタナラバ、是ハドウモ讓リテヤッタナラバドウデアアルカ、何モ方式ニ拘泥シサウシテ豫テ險惡ナル空氣ヲシテ一層險惡ナラシムルト云フコトハ、是ハドウモ御互ニ忍ンダ方が宜シクハナイカト思フ、此點ニ付テハ私ハ富井サント頗ル同感デアアル、唯茲ニ先程カラ屢々起ル問題デ資格ヲ制限スルハ非常ニ考ヘナクチャナラヌ點ト私ハ思フ、私ハ絕對ニ是ニハ反對スル者デアリマス、此關係ニ於テ山本サント先程ノ演説ニ對シテ、私ハ何カ山本君ハ誤解ヲシテ居ラレタコトガアリハセヌカト云フコトヲ一言イタイ見タイ、先程桑田君ガ山本サント御在職中ノコトニ言及シテ、簡易保險ハ政府ガスル見込ガアルカドウカト云フコトヲ伺ツタ所ガ、當時山本農相デアリマシタカ、大藏大臣デアリマシタカ、其當時ニアッデ政府ハ實行スル見込デアアル、斯様ニ言明サレタデアアル、是ハ山本サント自身ガ唯今御認メニナツタデアリマス、是ハ私ガ彼此申スノデアハナイ、唯其御答ナサツタ瞬間ニ、山本サントハ簡易保險ト云フモノハドウニ云フモノデアルト云フコトヲ御考ヘニナツテ居ラレタカト云フコトヲ私ハ疑フ、先程御論ニナツタ所ヲ伺ヒマス、ナニスナコトヲ言フケレドモ簡易生命保險ト云フモノハ斯ナ風ナモノデアハナイ、何カ労働保險デモアリハセヌカト云フヤウナコトヲ仰セニナツタデアリマス、ケレドモ、此労働保險ト云フモノニ付テ能ク誤解ヲシテ居ル向ガアル、労働保險ト云フモノハ成程労働者ヲ保護スルモノデアアリマス、此保險ヲスル、掛金ヲスル者何人デアアルカト云フコトヲ能ク考ヘナケレバナラヌト思フ、是ハ餘ホド資本主ニ大ナル負擔ヲ掛ケルモノデアルト云フコトヲ御承知ニナラヌトイカヌ、民業壓迫論者ナドノ身震ヒスル程思ヒシ是ハ代物デアアル、既ニ今年始メテ工場法ヲ實施セラレテ衛生状態ノ關係ヨリシテ労働時間ヲ制限シ、隨分資本主ハ是ノ爲ニモ大ナル迷惑ヲシテ居ル、一人ニ付テ一時間制限ヲスル、若シ是ガ一万八ノ職工ヲ使フ者デアルトスルト一萬時間ノ制限ヲスル、ソレハ各地至ル處ヲ御覽ニナ

ルト宜シ、信州一國デ何万人ノ工女ヲ使テ居リマスガ、ソレガ一時間制限サレルト何万時間制限サレルカ、即チ是ハ皆給料ノ關係シタ問題デアル、是ハ獨リ工女ノミナラズ隨分此邊ニ續紡工場ナド澤山アル、是等ガ一時間制限サレル、二時間制限サレル、其結果ト云フモノハ非常ナモノデアル、其上ヘ持ッテ來テ労働保險ヲ今日カラヤレナドト云フコトハ、ソレハ實ニ諸君ト共ニ民業壓迫ヲ大ニ吾々唱ヘテ見タイノデアル、今日斯様な工場ヲ實施スルヤ否ヤ、マダ實施モシナイ中カラ労働保險ナド盛ニ獎勵サレタラソレハ資本主ハ逆モ堪ラヌ、殊ニ日本ノヤウナ小サイ資本主ノ多イ國デハ堪ラヌ、トコロガ流石ハ政府デアル、遠慮シテ簡易労働保險ト云フヤウナモノヲ作ッテソレデマア任意のニヤレト云フノデアル、是ハ果シテ成功スルヤ否ヤ、今ノ理窟デハ餘リ感服シテ居ラス、元來簡易労働保險ハ非常ニ相違ガアル、簡易労働保險ト云フモノハ所謂簡易デアル、小口ニシテ取扱スル簡易ナル保險ト云フ意味デ、言テ見レバ國民保險ト云フモノデアル、如何ナル種類ノ人間デモ制限ヲシナイヤウニシテ、其範圍内ナラバ如何ナル人デモ御出ナサイト云フノガ、簡易労働保險ノ是ハ性質ナンデス、御互ヒガ這入ッテ何等差支ナイ、法律デ許シテ置イテサウシテ這入ッテナラヌハソレハオカシイ、苟モ出來得ル限り皆這入ッテ宜イ、其代リ金額デ制限スル、競争ハ出來ナイヤウニ金額デ制限スル、其金額ノ範圍内デアラシク如何ナル人デモ這入ラウガ何等構ハヌ、子供モ這入ルベシ何モ這入ルベシ、チットモ構ハヌ、ソレハ唯保險會社ハ關係シタコトデナイ、保險會社ガ受付ケナイ人デアル、保險會社ガ棄テタ人デアル、門戸ニ入レナイ人ミヲ受ケルノデ何等差支ナイノデアル、遞信省ノ最初ヨリ立デマシタ案ト云フモノハ今日マデ別ニ變テ居ラナイノデ、苟モ簡易労働保險ヲ政府デアル積リタ御答ガアツタ以上ハ、ドウ云フ性質デアルト云フコトハ無論御承知ノコトデアラウト思フ、唯今伺ッテ見ルト大變何デカ労働保險トモ間違ッテ居ラレル、労働保險ナラバアナタノ反對セラルル民業壓迫ニナルノデアアル、是ハドウモヤラス、先ズ暫クハヤラス方ガ宜イト思ヒマス、元來日本ノ國情ト云フモノハ外國ノ國情トハ餘ホド違フ、外國ノ労働保險ノ例ナドヲ持ッテ來テ日本ニ當嵌メヤウトスルト間違デアル、政府當局者モ間違ッテ居ル、頻リニ此點ニ重キヲ置カレテ居ルガマダ其時期ニ達シテ居ラス、日本ノ狀態ト云フモノハ矢張り昔ノ家族ノ精神ガ續イテ居ラテ、今日ト雖モ労働ノ大部分ト云フモノハ一種ノ家族のニ養ハレテ居ルノデアル、或ハ執務時間中ニ茶ヲ飲マシテ見タリ、ソレハ都會ノ地ニ於テヨリ機械的ニ労働者ヲ使ッテ居ルガ、田舎アタリヘ行ケバ皆自分ノ一族郎黨、昔ト何等變リハシナイ、サウ云フ所ヘ持ッテ行ッテ、西洋ノ所謂社會主義ナドヲ當嵌メヤウト云フコトハ大變間違デアル、非常ニ其點ニ付テハ政府ニ於テ誤解シテ居ルト思フノデアリマス、日本グラ井中產ノ多イ國ハナイ、元來之ヲ保護スルノガ今日國策トシテ最モ考ヘナケレバナラヌ點ト思フノデアリマス、其見地ヨリ此簡易労働保險ナルモノガ能ク當嵌メタ規定ト思フノデアリマス、此中產保護ト云フコトハ、中產ノ荒廢ヲ保護スルト云フコトハ是ハ餘ホド考ヘテ貫ハナケレバナラヌ大問題デアル、中產ト云フモノハ何カ資本本衣食スルモノノ如ク御考ニナルケレドモ、私ノ謂フ中產ハサウデヤナイ、勤勉ヲ以テ其日ノ生活ヲ立ッテ居ル者ノコトヲ言フノデアリマス、此趣意デ、日本國ヲ今日司ッテ居ル者ハ何デアル、大部分ハ皆ソレナンデス、ソレガ非常ニ健全デアルカラ今日日本ノ兵制ト云ヒ何ト云ヒ皆健全デアル、是ヲ何トカシテ

保護スルト云フコトハ政治家ノ最モ考ヘナケレバナラヌ點デアル、是ハ如何ナル種類ノ人間デアル、諸君ノ所謂細民デアルカ、私ノ謂フ所ニ依ルト細民デハナイ、或ハ小學ノ教員ハ給料ノ有様カラ云ヘバ細民デス、併ナガラ身分カラ云ヘバ細民ヲ以テ目スルコトハ出來ヌ、僅ナ給料ニ依ッテ衣食シテ居ル人間デス、併ナガラ其任務ハドウカト云フコト諸君ノ子弟ヲ養成シテ居ル、給料ハ低イガ御互ノ子弟ヲ養成シテ居ル、小學校ノ教員ハ先程ナカカノ說ニ十何万人カ日本ニアル、是等ハマサカ細民ト云ハレヌ労働者トモ云ヘマスマイ、巡查ハ如何デス、巡查モ成程其職ハ低イヤウデアル、又其仕事ハ日夜風雨ニ曝サレテ隨分氣ノ毒ニ思フガ、併ナガラ是モ亦細民トハマサカニ云ヘマイ、貧民トモ云ヘマイ、普通ノ官吏ハ如何、多數ノ官吏、今日國費ヲ以テ養成シテ居ル多數ノ官吏ハ如何、是モドウモマサカ細民トモ云ヘマイ、是ハ皆悉ク保護ヲシナケレバナラヌデス、即チ其生命ガアッテサウシテ働イテ居ル中ハ何等保護ハ要ラナイ、給料ニ依ッテ衣食シテ居ルノデアルカラ要ラヌケレドモ、是ガ詰リ生命ヲ失ッテ、サウシテ新タナル子孫ノ生涯ニ這入ルト云フ時ニハ、大ニ考慮ヲ要スルモノデアラウト私ハ思フ、巡查デアリマストカ、小學教員デアリマストカ其他多數ノ官吏デアリマストカ、又獨リ官吏ハカリデハナイ、諸君ノ所謂民業ニ從事シテ居ル、其事務員ト雖モ矢張り同様デアリマス、ドウモ自分ノ社員デアラカト云フテ、五百圓以上デナケレバ受付ケヌ會社ガ、三百圓ノ保險ニ付ケルト云フコトモ出來ナイノデアリマス、即チ足許ニ火ガ附イテ居ル、諸君ガ使ッテ居ル人ミノ此荒廢ト云フコトハ餘ホド考ヘナケレバナラヌ、日本ニハ代々貧民ト云フモノハナイ、今日ハ頻リニ貧民ヲ製造シツツアルケレドモ、代々ノ貧民ハナイ、此貧民ハナイト云フ此有様ヲ、能ク社會ニ對抗シテヤッテ行クト云フニハドウスルカト云ヘバ、即チ死ンダ時ニ幾千カノ、自分ノ生活ノ方針ヲ變ヘルダケノ資本ガ掛カル、稼人ガ死ネバ直様、葬式ノ問題ナドハ別ノコト、斯様な者ハ葬式ヲシナクテモ宜イ、併シ免ニ角子孫ガ食フダケノ途ハ何トカシテ造ラヌケレバナラヌ、ソレニ對シテハ資本ト云フモノガ必ズ要ルノデアリマス、ソレニハ所謂簡易生命保險ノヤウナモノガアッテ、金額ガ多イナラ少シ位減シテモ宜シイ、二百圓ナリ百五十圓ナリノ金ヲ貰ッテ其金デ身分ヲ改良スル資本ニスルノデアリマス、或ハ國許ヘ立去ル資本ニスルノデアリマス、サウ云フ譯デ労働保險ト簡易生命保險トハ非常ニ趣キガ違ッテ居ルモノデアルト御承知ニナッテ置キタイノデアリマス、既ニ御贊成デアル以上ハ、即チ此二百五十圓ナリ二百圓ナリ、其範圍内デアルト云フコトハ、如何ナル人デアラウトモ決シテ拒ムコトハナイノデアリマス、政府ノ労働保險一枚有ッテ居ルト云フコトガ名譽ニナルヤウニ仕組ンデ戴キタイ、是ニ資格ヲ設ケルト云フヤウナコトハ甚ダ間違ッテ御論ト私ハ思フ、先づ第一今ノヤウナ點ニ於テ間違ッテ居ルノミナラズ、事務ノ實際ニ於テ到底行ハレヌコトデアル、恐クハ餘リ御感シモアリマスマイガ、新聞ナドヲ御覽ニナルト朝ノ労働電車デス、労働所謂朝ノ電車ニ乘ル人間ノ見別テ、車掌ニ許スコトノ利害ト云フコトヲチヨイノ見ルデス、是ハアナタ方ニハ御分リニナラヌコトデアリマスガ、或種類ノ學生労働者ニ限ッテ賃錢ヲ半額ニスルト云フ問題ノ實行ニ付イテ、諸君ガ一考サレタラ是ハ分ルコトデアル、電車ノ中デアナタハドウモ役人ラシイカラ止シテ吳レトカ、イヤドウモアナタノ學生デナイヤウダ、労働者デナイト云フヤウナ爭ヒヲ車掌ニ許スコト云フコトハ餘程考ヘモノデアアル、郵便局ノ窓口ニ來ル人間ノ資格ヲ制限シ

テ、ドウモ御前ハ立派デカラ何處カテ納メテ居ラウ、ソナノハイカスト云フヤウ  
ナコトヲ云フコトハ決シテイカスコトアル、郵便局ノ前ニハ如何ナル貴顯ガ來ラレヤウ  
ガ、ドンナ貧乏人ガ來ヨウガ同一ノ待遇ヲスルノ原則トシテ居ルノデアル、常ニ諸君ハ  
郵便局ノ役人ガ非常ニ不埒ヲシタト云フヤウナコトヲ御話ニナル、ソレハドウ云フ所カ  
ラ起ルカト云フト、動トモスト威張ルトカ何トカ云フ問題ガ起ルノデス、サウ云フコトヲ  
窓口テ爭フコトヲ許シタリ、或ハ又郵便局テ扱ヒラスル上ニ於テ、ドウモ御前ハ小學校  
ノ教員デハナササウダ、小學教員ト書イタカラ後日はハ無効ダトカ云フヤウナ問題ヲ  
惹起スヤウナコトガアッテハ、是ハドウモ甚ダ其意ヲ得ヌコトト私ハ思フノデアリマス、恐  
ラク此資格ヲ附ケルト云フコトハ、政府ニ取ツテハ金額ヲ五十圓下ケラレタヨリ苦シ  
シラウト思フ、又反對ノ諸君ノ方カラ恐ラク是ヲ機多、非人、乞食ト書イテ仕舞ツムラ  
ソレハ餘程宜シイデセウ、ゴリノ反對論者ハ、簡易生命保險ト云フ名前ヲ貧民生  
命保險ト附ケタナラバ、或ハ其金額ハ五百圓ニシテモ贊成スルト言ッタ人ガアル、恐ラク  
諸君ノ中ニモ其コトハ御承知デアラウ、即チ眞策デス詰リ反對、反對デアアルガ何シロ通  
過スル爲ニハ修正デモセヌト工合ガ惡イト云フ考ヘガアルカラ、其修正ノ爲ニ反對ニナル  
ヤウナ仕組ト云フヨリ外私ハ途ハナイト思フノデアリマス、ソレカラ金額ニ付イテハ場合ニ  
依テハ贊成シ得ル、政府ガ新ニ提出シタ時ナラ無論同意ヲ致シマス、衆議院ヲ若シ無  
事ニ通過スルナラバモ同意イタシマス、併シ資格制限ト云フコトニ付イテハハ同意ガ  
出來ヌコトト思ヒマス、斯様ナコトハ簡易生命保險ノ性質ニ反スルカライカヌ、輿論デハ  
ナイ、引續イテ斯ウ論ヲ來ツテ、先程申シマシタ山本サシノ、何カ此施行ノ實況ニ照シテ  
御話ニナツタコトハ、簡易生命保險ト云フコトヲ御承知ナクシテ、政府デアルコトヲ御承  
知ニナツタノデハナイカト思フ、思フニ是ハ金額ノ問題デハナイヤウデアリマス、是ハ勞働  
保險ノコトヲ思フテ居ラレタカ知リマセヌガ、簡易生命保險ト云フモノハ、斯ウ云フ性質  
ノモノデアッテ勞働保險トハ全ク變ツタモノデアリマス、私ハ餘リ長クシヤベリマシテ、其  
間……不斷ハ御承知ノ如ク非常ニ無口ノ者デアリマシテ、餘リシヤベリコトノ出來ナイ者  
ガ、本案贊成ノ爲ニ已ムヲ得ズシヤベリマシタ結果、イロノ各位ノ御感情ヲ害スルヤ  
ウナ文句ヲ多數列ベタカモ知レヌノデアリマスガ、決シテソレハ本意デハナイノデアリマシテ、  
其點ハ例證ヲ御舉ゲ下サイマシレバ、一切皆取消ヲ致シマス、ソレカラ御宥恕下サルナ  
ラバ宜シク御宥恕ヲ願フテ置キマス、即チ修正案ニ反對イタス意見ヲ是デ結ビマス

○水野鍊太郎君 此案ニ付キマシテ、御互ガ意見ヲ異ニ致シマシテ、斯ク長ク討論セ  
ザルヲ得ザル場合ニ至ツタノヲ悲シノデアリマス、殊ニ吾ノ先輩タル方ミカラ、御熱心ノ  
餘リデハアリマセウケレドモ、誠ニ不愉快ナル言葉ノ出タト云フコトモ誠ニ遺憾ト存シマ  
ス、或ハ保險會社ノ誘導ニ迷ウタノデハナイカ、或ハ政界ヲ混亂スルガ爲ニ斯ノ如キ問  
題ヲ出シタノデハナイカト云フヤウナ言語ガ出マシタノハ、御互ニ品格ヲ重シズル吾トシ  
テ遺憾ニ考ヘマス、吾々ハ此案ニ付キマシテ冷靜ニ研究ヲ努メマシタ、政府案ニ必ズ反對  
スルト云フ意味デハナイ、簡易保險ノ今日必要ナルコトモ認メル、而シテ官營ノ必要モ認  
メル、而シテ又獨占ノ必要モ認メルノデアリマスガ、併ナガラ此案ノ本旨ヲ全ウシ、此案  
ヲシテ社會ニ歡迎セラレ、而シテ批難ナキコトヲ期スルト云フ點カラシテ、深く考慮ヲ費  
シタノデアリマス、而シテ今日此案ニ對シテ修正案ガ出タノデアリマス、私深ク原案ト比

較研究イタシマシタ結果、ドウモ修正案ノ方ガ道理ガアルノデハナイカ、是ガ穩健ナコト  
デハナイカト云フ感シヲ持チマシタ、先程カラ皆サシノ御高説ヲ承ハリマシテ、其頭ニナツ  
タノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、今日ニ於キマシテ此修正案ガ出タ以上ハ、其修  
正案ニ同意ヲ表スルト云フコトガ穩健デアリ、又此案ノ目的ヲ達スル上ニ於テ適切ナリ  
ト考ヘルニ至ツタノデアリマス、此點ニ付キマシテハ、私ガ平素尊敬スル所ノ先輩富井先  
生ノ御考ト全然一致デアリマス、唯結論ノ同ジカラザラ遺憾トスルノデアリマス、富井  
博士ノ説ニ依レバ、修正案ハ如何ニモ道理ガアル、誠ニ此案ノ本旨ヲ達スル上ニ於テ、穩  
健デアルト云フ御考デ、ソレデアアルカラシテソレニハ反對ハシナイノデアアル、唯其結果トシテ  
起立ニ問ハルル上ニ於テハ、已ムヲ得ズ原案ニ贊成シナケレバナナイノデアアル、故ニ甚ダ  
苦シイノデハナイカト、其趣旨ハ此通りデアアル、極メテ穩健デアアル、如何ニモ立派ナ御態度  
ニ對シテ、私ハ誠ニ敬意ヲ表スルト同時ニ其御趣旨ニハ全然御同感デアリマス、唯結論  
ヲ異ニセザルヲ得ナイト云フコトニ付キマシテハ、私ハ論理ヲ頭ニ考ヘル結果、ドウシテモ富  
井先生ノ結論ト一ニ出ルコトノ出來ナイ趣意ニナルノデアリマス、申スマデモナク、此案  
ハ社會政策ノ趣旨カラ出タモノデアルト云フコトハ能ク人ガ言フコトデアリマス、社會政  
策ノ趣意ニ出タノデアアルカ、然ラザルノデアアルカ、ソレハ學問上ノ言葉トシテソレヲ攻究ス  
ル必要ハゴザイマセヌ、要スルニ政府モ説明セラレガ如ク又吾々モ之ヲ考ヘルガ如ク、成  
ルベク細民ニ生命保險ノ利益ヲ及ボシテ、假令少シデアッテモ細民ノ保險ノ目的ヲ達シ  
サセタイト云フ趣旨ニ於テ修正ガ出タナラバ、此方ニ贊成シナケレバナラヌト云フコトニナ  
ルノデアリマス、ソレト同時ニ謂ユル民業壓迫トカ、民業ト競争トカ云フ議論モ大分世  
間デハ問題ニナツテ居ルノデアリマス、此議場ニ於テモ、度々研究ヲ遂ゲタ所デ、是モ亦  
考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、國家ガ或事業ヲ必要ト致シマス以上ハ、時ニ民業ヲ  
壓迫スルト云フコトノアルノハツレハ已ムヲ得ナイ、公益ノ爲ニ私利ヲ擲タナケレバナラヌ  
ト云フコトハ同意見デアリマス、併ナガラ此點ニ付テモ慎重ニ研究ヲシテ、出來ルダケ民  
業ヲ壓迫シ民業ニ打撃ヲ與ヘザル方法ヲ講ズルト云フコトハ、是ハ爲政者トシテ最モ考  
ヘナケレバナラヌコトト思ヒマス、而シテ此案ガ出タナラバ、民業ト如何ナル關係ガアル  
カト云フコトハ、御互ニ深く研究シナケレバナラヌ、又政府モ深く考慮セラレタコトト思ヒ  
マス、此案ガ如何ニ民業ト接觸スルカ、其間如何ニ交渉ガアルカト云フコトニ付テハ、度  
度質問ヲ致シマシタガ、政府モ民業ト交渉ガアルト云フノハ事實デアアル、ソレハ多少アル  
デアラウ、併ナガラ其結果打撃トカ壓迫トカ云フコトハアルマイト云フ御考デアリマス、見  
ヤウニ依リマシテハ何方ニモナルカモ知リマセヌガ、事實ニ付テハ虛心平氣ニ考ヘマシレバ、  
今日三百圓以下ノ保險ヲシテ居ル會社ガ三十二社現ニ在ルノデアリマス、百圓ヲ契約  
シ得ル會社ガ三社、二百圓以下ヲ契約シ得ル會社ガ一社、二百圓ヲ契約シ得ル會社  
ガ三十二社アルノデアリマスガ、其他教育保險會社トカ云フモノガアル、是ハ修身保險  
及養老保險ヲ致スモノデアリマセヌカラ、其接觸ノ範圍ハ或ハ少ナイカモ知レマセヌガ、  
是モ同一ノ趣意ニ於テ接觸シ得ルコトハ、事實ニ於テ爭フコトハ出來マセヌ、果シテ左  
様デアリマスナレバ、官業ト民業ガ接觸シテ、其結果或程度ニ於テ民業ニ打撃ヲ及ボス  
ト云フコトハ、常識ヲ以テ考ヘテモ、虛心平氣ニ考ヘテモ、爭フコトハ出來マセヌ、ソレデア  
リマスカラシテ、其接觸ノ範圍ヲ少シデモ少ナクシ、民業ト官業トノ競争ヲ少ナカラシム

ルト云フコトハ必要ナコトデアラウト思ヒマス、絶對ニ之ヲ止メルト云フコトニシマスナラバ、是ハ百圓以下ト云フコトニナリマスレバ止ミマセウガ、ソレデハ政府ハ計算ガ立タナイノデ三百圓ニナッタノデアル、其競争區域ノアルト云フコトデアル、其競争區域ヲ一分ナリ二分ナリ少ナクスト云フコトハ、政府デモ考ヘナケレバナラヌコトデアリ、吾々モ審議スル上ニ深く考慮シナケレバナラヌト思フ次第デアリマス、ソレデアリマスカラ其趣旨カラ申シマスレバ、二百圓ト云フコトヲ五十圓下ゲテモ百圓下ゲテモ其範圍ガ必ズ少ナクナッテ來ルニ違ヒナイ、私ハ筋ノ上カラ云ヘバ、寧ロ政府ノ簡易保險事業ヲ二百圓ヲ限度トスルノハ實ハ適當デナイカト思ヒマス、ソレデアリマスカラ修正案ヲ御出シニナッタ方ハ何故ニソコニ行カナイカ、何故ニ二百五十圓ニナッタカト云フコトヲ質問イタシタノデアリマス、サウ致シマスレバ、希望ハ二百圓位ノ所ニアルケレドモ政府事業ヲ完成シ若クハ政府ノ述べラレタ所ノ趣旨ヲ達スルガ爲ニ已ムヲ得ズ……又或ル意味ニ於テハ此法案ノ成立ヲ希望スルガ爲ニ二百五十圓ニシタノデアルト云フコトデアル、是ハ宜シイ、誠ニ穩健ナル說デアルト思フ、理窟以外ニ穩健ナル說デアルト思フデアリマス、斯ノ如ク民業ト官業ノ接觸ヲ少ナクシ、而シテ之ヲ以テ此法案ノ目的ヲ達スルコトナラバ、ソコニ行クト云フコトガドウモ吾々ハ穩健ト考ヘルコトカノデアリマス、現ニ舊ノ法律案ニモ二百五十圓トナッテ居ルノデアリマス、尤モ割増金ハアリマシタケレドモ、免二角二百五十圓ト云フ限度ヲ見デ居タノデアリマスガ、先ヅソコイラ今日ノ情勢ニ於テハ適當デハナイカト考ヘル次第デアリマス、ソレデアリマスカラシテ比較研究ヲシテドチラガ穩健デアルカ、ドチラガ今日ノ實際ニ適當デアルカト云フコトデアリマスレバ、ドウモ道理ノ在所ニ依ッテ進退シナケレバナラヌ、故ニ私ハ其二百五十圓以下トスルコトノ道理アリ、筋アリ、又極メテ健全デアル所ノ案ニ贊成セザルヲ得ナイ次第デアリマス、又此簡易生命保險ハ度々御話ニナリマス所、窮極スル所ハ所謂下層民ヲ救助シ下層民ヲ保護セムト云フ所ノ趣意ニ外ナラナイモノト思ヒマス、中流以上ノ者ニハ普通生命保險モアルシ、其他ノ方法モアルカラ、先ヅ第一著トシテ細民ヲ救助シヤウト云フ、是ガ世人ガ稱シテ言フ所ノ即チ社會政策ノ法案デアルト云フノデアリマス、ソレデアリマスカラ成ルベク是ハ其人達ノ占有ト云フテハ言葉ハ惡イカ知ラヌガ、サウ云フ人達ノ利益ヲ厚クスル方ニ向イテ行カナケレバナラヌ、ソレ故ニ他ノ相當ナル……相當ト云フテモ言葉ニ弊害ガアリマスケレドモ、所謂細民ナラザルモノノ之ニ這入ルコトハ寧ロ防イデ、細民ノ方ニ成ルベク向ケルト云フコトニシテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、此案ニ依リマスレバ成ホド二百圓以下デアリマスルカラシテ、多クハ細民ガ這入ルノデアルト云フコトデアリマスケレドモ、先ホドナタカ御話ニナリマシタ如ク、此簡易生命保險ト云フモノハ、言葉自身ガ現ハス如ク手續モ簡易デアル、又營業ノ本體ガ國デアリ政府デアル、此點ニ於キマシテ極メテ有利ナル地位ニ立ツノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、普通ノ會社ニ這入ルヨリ此方ニ這入ラウト云フコトハ何人モ考ヘルノデアリマス、多少保險料ガ高クアツデモ此方ニ這入ルノハ安全デアルト云フ考ヲ有ツデアラウト思ヒマス、ソレデアリマスカラシテ、此法案ガ出レバ高等官ノ人モ這入ラウト云フコトハ現ニ言ッテ居ル人モアル、ソレノミナラズ自己ノ家族モ又之ニ入レヤウト云フヤウナ考モ必ズアルニ違ヒナイ、サウ致シマスレバ最高額三百圓以下トシテハアリマスレドモ、二百圓ニ加フルニ二百圓ノ子供ノ保險ヲスル、又更ニ二百圓ノ親

ノ保險ヲスルト云フコトニナリマスレバ、五百圓ハ百圓ト云フコトニナル譯ニナリマス、而シテ今日ノ民間保險會社ノ被保險者ノ如キ利率ヲ見マスレバ六割八分マデハ先ヅワレト六割八分モアルノデアリマス、半分以上アリマス、サウスレバ六割八分マデハ先ヅワレト相競争シ相接觸シテ行カナケレバナラヌ、サウ致シマスレバ原案ノ通りデアレバ接觸スル範圍ハ隨分多イト見ナケレバナラヌ、デアリマスカラ此點ヲ私ハ少シテ減ラシテ行キタイ、ソレデハ二百五十圓ニナレバドウカト云フト、是デモ無論接觸スル、二百圓ナレバドウカト云フト、是デモ接觸ガアリマスケレドモ、二百圓減ツテモ五十圓減ツテモ其程度ハ少シデモ下ガッテ來ル、其下ガッテ來ル點ニ於テ修正案ガ道理ガアル、デアリマスカラ假リニ二百五十圓ト云フ修正案デアリマスガ、二百八十圓トシタラソレニモ同意スル、二百九十圓、ソレニモ同意スル、誠ニ零碎ナ金額ノ問題ノヤウデアリマスケレドモ實際ニ於キマシテハ隨分大キイコトデアル、ソレデアリマスカラ接觸ノ範圍ガ一分デモ二分デモ少ナクストトハ、ドウモ其方ガ道理ガアラウト思フ、ソレガ今日ノ狀態カラ申シマスレバ寧ロ穩健ノ說デアル、私ハドウモ極端ニ走ルコトヲ好マナイノデアルガ、成ベクサウ云フヤウナ點ニ付テハ充分ナル適當ナル範圍ヲ考ヘタイト思フノデアルカラ、此修正案ノ二百五十圓ニ或ハ理窟ニ於テハ私ハ餘リ感服シナイ、寧ロモット下ゲル方ガ理窟ニ合フト思ヒマスガ若シ又政府カラ申シマスレバ、計算ト云フヤウナコトモ狂フト云フヤウナコトモアリマセウカラ、其政府ノ計算ノ基礎ヲ成ルベク狂ハサズ、而シテ又民間ノ接觸ノ範圍ヲ成ルベク少ナクシテ兩方歩ミ合ッテ此位ニスルト云フコトハ、寧ロ私ハ非常ニ兩方カラ互讓サレタ、讓ラレタ所ノ適當ナル案デアラウト思フ、斯フ考ヘマスノデ、是ハ比較研究シテサウ云フ案ガ出タナラバドウモ贊成シナイト云フコトハ私ノ本旨ガ之ヲ許サレナイノデアル、其趣意ニ於テ此二百五十圓ト云フコトニ贊成スル次第デアリマス、ソレカラ之ガ即チ此簡易生命保險ノ本旨ヲ達スル所以デアル、餘リ高クシテ先程モ申上ゲタ通り相當ノ地位アル人ヲ呼ブト云フコトハ目的デアリマセヌ、成ルベク細民ニ向ケテ行キタイ、一切ノ手心目其方デアルト云フコトハ小松君ノ如ク二百五十圓デ、政府ヲシテ必ズヤラシムル、斯ウ云フヤウナ御趣旨デアル、若シヤラシメルナラバ、政府ハ又同意セラレタナラバ、何故ニ二百五十圓ヲ主トスルノデアリマスガ、私ハ法文ノ上ニ於テ事實ガ其通りニスルコトデアラナラバ、法文モ其方ニ直スコトガ適當デアラウト思フノデアリマス、ソレカラ制限ノコトデアリマスガ、制限ハ小松君ノ御話ニナリマシタ如ク、又政府モ度々御話ニナリマシタ如ク、是ハ隨分ムツカシイコトデアラウト思フノデアリマス、容易ニ出來ルコトデハナカラウト思ヒマスガ、併ナガラ是モ此前ノ法案ニ於キマシテハ現ニ制限ガアルノデアリマス、或ハ直接國稅ヲ標準トスルト云フコトガアル、直接國稅ヲ標準トスルナラバ、必ズシモ適當ノ標準デナイカ知レマセヌガ、其以外ニ、直接國稅ヲ納メル以外ニ諸種ノ資産ヲ有ツテ居ルモノモアルシ、色メナ關係ガアルカラシテ直接國稅ノ納額ヲ以テ貧富ノ程度ヲ計ル標準トスルコトハ適當デハナイト云フ御說モアツタガ尤モデアリマス、兎ニ角是モ一ツノ標準ナノデアアル、直接國稅十圓以上ノモノニ對スル制限トナルノデアルカラ、ソレマデ民業ト接觸ノ範圍ヲ少ナクストノデアリマス、是モ一ツノ十分ナル標準デハナイカモ知レマセヌケレドモ、免二角民業ト官業トノ接觸ヲ少ナクスト一ツノ標準ニナルト言ハナケレバナラヌ、ソレハ前ノ原案ニアツタ實例ヲ申スノデアリマス、尙ホ深く研究スレバ其他ノ標準モ立デラレヌコトモ

ナイト思ヒマス、是ハ固ヨリ容易イコトハ申シマセヌガ、又標準ト云フガ如キハ或ル程度ハ所謂「アービトラリー」人爲のモノデアリマスガ、必ズモ立テラレヌコトハナイ、ソレハ立テル結果トシテ民衆ト官業ノ接觸ヲ少クシ、而シテ又細民ヲシテ多クノ恩典ニ浴セシムルコトヲ得ルト云フナラバ、是位ノコトハ政府ニ於テ考慮セラルベキコトト思ヒマスカラ、此點ニ於テモ制限ヲ付スルト云フコトハ筋ガアルト思ヒマス、故ニ此點ニ於テモ亦同意セザルヲ得ザルニ至ッタデアリマス、是ハ富井博士モ言ハレテ居リマス、理窟ガアル、反對デハナイ、贊成デアルト云フコトヲ言ハレタ、之ニハ全ク富井博士モ御同意ナノ御反對デハナイデアリマス、極メテ穩健ナ御考デ、理窟ガアルト云フコトヲ御認メニナツタノデ、私ハ此點ニ於テ深ク先生ノ御説ヲ敬重シテ居ルデアリマス、サテ斯ノ如キコトデ、此主張ハ如何ニモ理窟モアリ筋モアルガ、若シ斯カル修正ヲ加ハフルニ於テハ、或ハ衆議院ニ廻ハッテ此案ガ通ラナイコトナリハセヌカ、サウスレバ折角此事業ヲ實施セムトスル趣旨ガ崩レテ仕舞フカラ、筋ガアリ理窟ガアルガ、遺憾ナガラ此案ヲ成立セシメムトスル愛案ノ趣旨カラシテ、結論ニ於テ不同意ヲセンナラヌト云フコトヲ言ハレタノハ是モ此點ニ於テモ御穩當ノ御説ト考ヘラレマス、併シ是ハ私尙ホ深ク考ヘテ見タノデアリマスケレドモ、成ホド是ガ衆議院ニ廻ハリマシテ、通ルカ通ラナイカハ分ラナイデアリマス、殊ニ政府ハ之ヲ難シテ居ラレルヤウナ次第デアッテ、富井博士ノ如キモ、成ルベクサウ云フヤウナ所デ政府モ御努力ニナツテハ如何ト云フコトヲ、昨日懇談會ニ於テ述ベラレタノデアリマスガ、政府ハ絶對的ニイカヌト云フコトデアリマシタ、併シ是ハ私ハ議會制度ニ於テ、然モ二院制度ニ於テハ已ムヲ得ナイコトデアラウカト思フデアリマス、衆議院ノ可決シタモノガ、ドウモ理窟ニモ合ハヌ、又國家ノ大勢カラ申シテ適當ナイト考ヘタナラバ、貴族院ニ於テハ已ムヲ得ズ自ラ信ズル所ノ穩健ナルコトト考ヘ、又ソレガ國家ノ爲ニ宜イト考ヘタコトニ付キマシテハ、縱令衆議院決議イタシマシテモ、ソレニ手ヲ染メルト云フコトハ已ムヲ得ナイコトデアラウト思ハレル、而シテ其結果案ガ通過シナイト云フコトナリマシタドウカト申シマスレバ、ソレハ誠ニ遺憾ナコトデアリマス、デアリマスカラシテ、昨日モ懇談會ニ於テ政府モ成ルタケ此點ニ付テハ御努力ヲ願ヒタイト述ベタ次第ナラバ、左ホド重大ナル問題デアナイデアリマスカラ、衆議院ニ於テモ必ズシモ絶對ニ通過セヌト云フコトハナイ、寧ろ謂ハユル交譲妥協ノ精神ヲ以テスルナラバ、衆議院ノ賢明ナル諸君モ亦之ニ同意セザルナキヲ保セナイト思フデス、假ニ若シ同意シナイト云フコトナリマシテ、同意シナイト云フコトヲ前提ト致シマシテ、筋ノアリ理窟ノアルト云フコトヲ拋棄シテ仕舞ッテ、衆議院ガ先キニ決議シタカラ、默ツテ之ニ從ハウデヤナイカト云フコトハ、私ハドウモ本心ガ許サナイデアリマス、若シサウ云フコトナリマススト云フト、衆議院一度決議シタモノハ、ドウモ貴族院一字一句モ手ヲ付ケルト云フコトハ出來ナイト云フコトナリハスマイカト云フ結果モアリマスルカラシテ……是ハ或ハ貴族院ノ決議シタモノヲ衆議院デ修正ヲシタナラバ、而シテ其修正ガ理アリシタナラバ、貴族院モ虚心平氣ニ考ヘテ、其理アル所ノ修正ニ從ハナケレバナラヌト思フ、又貴族院ノ決議シタ所ガ理アリシタナラバ、衆議院ノ賢明ナル諸君モ亦之ニ同意セシナラヌト云フコトハ、是ハ議會政治ノ常態デアル、又議會政治家ノ德義デアル、デアリマスカ

ラ、衆議院ガムツカシイカラト言ッテ、衆議院ノ通りニシテ置カウデヤナイカト云フコトハ、將來ヲ律スル法律案ノ審査ノ上ニ於テハ如何デアラウカ考ヘルデアリマス、若シ假ニデス、假ニ衆議院ガ不幸ニシテ我ミト意見ヲ同ジウシナイデ之ヲ否決スルト云フコトナリマシタラ、其結果ハドウナルカト申シマスル誠ニ遺憾デアリマスルケレドモ、是ハ先ヅ一年延ビルト云フコトナラ、一年延ビルト云フコトハ誠ニ遺憾デアリマス、遺憾デアリマスケレドモ、國防上ノ問題トカ其他ノ急要ナ國務ノヤウナモノデハナク、是ハ一年位ノ延期ハ或ハ已ムヲ得ナイカト思フ、私ハ事實私ノ腹ヲ申スト、實ハモウ少シ研究シタイト思ッテ居タノデアリマス、例ヘバ制限ノ點ニ付テモ、政府ニ於テモ尙ホ十分ニ御考慮下スッテモ宜シ、我モ亦十分ニ考慮シタイ、ソレカラ二百五十圓ニナツタラドノ位ノ影響ヲ來スカ、三百圓ニナツタラドナルカト云フヤウナコトモ、研究シテ見タイト思ッデアリマス、斯カル問題ハ必ズシモ一年一日ヲ爭フト云フ問題デアナイデアリマスカラ、若シ時ガアツタラ深ク研究シテ見タイ、縱令此案ガ通過シテモ尙ホ研究シタイト思ッテ、諸種ノ材料ヲ要求シタヤウナ次第デアリマシテ、必ズシモ今日之ヲ通サナケレバナラヌト云フ理由ハナイ、通ルコトハ無論希望スル、希望スルノデスケレドモ、不幸ニシテ衆議院ガ此貴族院ノ理アリ筋アル所ノ修正ニ同意シナカツタナラバ、一年位研究ノ餘地ヲ與ヘテモ、左ホド國家ノ進運ニ害ガアルト云フ程ノコトトモ思ハナイデアリマスカラ、政府ガ十分ニ御努力ニナリ、又衆議院ニ於テモ虚心坦懷ニ御研究ニナリマシタラ、多分同意スルデアラウト考ヘル、ケレドモ若シ同意シナカツタラドウスルカト申セバ、是ハ一年間ノ研究ハ寧ろ適當ナコトデアナイカト思フデアリマスカラシテ、富井博士ノ御心配ハ誠ニ御尤デアリマスケレドモ、御尤デアルト同時ニ、斯カル理由モアリマスカラ、寧ろ是ハ貴族院トシテハ、適當ト考ヘル所ノ筋ニ依ッテ、即チ此修正案ニ依ッテ進ンデ行ッタナラバ如何デアラウカト、斯ウ云フ風ニ考ヘルデアリマス、併ナガラ若シ此案ガ一年延期スルガ爲ニ、非常ニ社會ノ闕陥ヲ來タス、國家ノ不利ヲ來タスト云フナラバ、是ハ涙ヲ振ッテモ之ニ同意シナケレバナラヌデアリマスケレドモ、私ハ左様ナコトトハ思ハヌデアリマス、之ヲ施行スル時期ガイツデアリマスカ知リマセヌケレドモ、恐ラク施行スルニハ多少ノ時ヲ要スルデアリマス、カラシテ要スルニ僅カ七八箇月位ノ時期ノ差ニナルデアナイカト思ヒマス、假ニ衆議院ガ否決ヲシタトシマシテ……況ヤ衆議院ガ同意スレバ之ニ越シタコトハナイデアリマスカラ、左ホド衆議院ノコトヲ御考ヘニナラナクテモ宜シイデアナイカ、寧ろ二院制度ノ必要ナ所ヲ御考ヘニナツテ、斯ウ云フ風ニ修正ヲ御進メニナル方ガ適當デアナイカト思ヒマス、ソレカラ現ニ本年政府案トシテ御提出ニナリマシタ裁判所ノ設置及移轉ニ關スル法律案中ノ長崎控訴院ヲ福岡ニ移スト云フ問題モ、衆議院ガ之ヲ否決シタノデアリマス、而シテ法案ガ貴族院ニ廻ッテ來タ其時ニ、司法大臣ノ態度ハ如何デアッタカト申スト、是ハ政府ハ實ニ必要ト思フ、思フケレドモ一度ビ衆議院デ否決シタノヲ、再ビ貴族院デ復活スルト、此案ガ全體成立タナイコトニナルカモ知レナイカラ、強ヒテ復活ヲ求メナイト云フノデ、此案ノ成立ヲ望マレタノデアリマス、ソレト同様ノ理由デ、貴族院ガ斯ク修正スレバ、衆議院ニ於テモ貴族院ノ修正ニ同意サレタイ、若シ衆議院ガ同意シナケレバ、此案ガ成立シナイカラト云フコトヲ述ベラレテ、政府ガ誠意ヲ以テ衆議院ニ御臨ミニナツタナラバ、必ズシモ通過シナイト云フコトハナカラウト思

ヒマス、丁度控訴院ノ問題ニ付テ衆議院ノ修正ガ貴族院ヲ通過シタノト同一ニ出ル  
テアラウカト思フデアリマス、此點ハ富井先生ガ非常ニ御憂ニナリマシタ點デ、先生ノ  
御憂慮ハ誠ニ御尤ト思ヒマスガ、此憂慮ハ寧ろ唯今申スヤウナ政府ノ努力ト、貴族院  
ノ誠意ト、而シテ衆議院ノ賢明ナル考慮トニ依ツテハ、其憂ヲ除クコトガ出來ルカト思  
フ、此意味ニ於キマシテ私ハドウカ此修正案デ、行クコトヲ望ムデアリマス、是ガ筋モア  
ルシ法ノ目的ニ適フシ、而シテ又長ク續ク所ノ法律トシテ適當ナモノト思フデアリマ  
スカラ、ドウカ此點ニ付テハ諸君モ更ニ御一考ヲ煩ハシタイコトト思フ、深イ理由モ何ニ  
モナイ、サウ云フヤウナ事ガ誠ニ私ハ極要ノ説デアル、適當ノ説デアル、穩健ナ考ト考ヘ  
マスルガ故ニ、此法案ヲ深ク研究イタシマシタ結果、此修正案ガ出マシタノデ、之ニ同意  
セザルヲ得ナイ譯デアリマス、此コトヲ一言イタシマシテ修正案ニ同意ヲ表スル次第デア  
リマス

○桑田熊藏君 再ビ發言ヲ求メテ諸君ヲ煩ハスノハ誠ニ恐縮デアリマスガ、修正案ニ  
對スル意見ヲ簡短ニ申述ベタウゴザイマス、先ツ反對ノ論者ガ反對ノ御趣旨ニ拘ラズ修  
正案ヲ御提出ニナタコトヲ謝シマス、小松君ト同ジク謝シマス、修正ノ御意見ノ多々ア  
ルベキコトヲ二ツノ點ニ集中サレタルコトモ是亦厚ク謝シマス、唯此修正ノ二箇條ト云フ  
モノガ、我々ドウ考ヘマシテモ是ニ御賛成ガ出來マセヌデアリマス、ソレハ政府委員カ  
ラ屢々言明ニナリマシタ如ク、先ツ第一條ニ付キマシテモ、此資格ノ制限ト云フ問題  
ニ付キマシテモ、此コトハ我々多年ノ頭ニアツタ問題デアリマシテ、此案ノ起草ニ參加  
イタシマシタガ、此點ニ付テハ私ハ全然山本君ニ御同意ヲ申シマス、其意見ヲ以テ  
屢々遞信省內ノ調査會ニ於キマシテモ、又遞信當局ニ對シマシテモ、種々攻究ヲ重  
ネテ見マシタ、所ガドウモ方法ガ無イト云フノガ結局ノ斷案デアリマシテ、例ヘバ納稅  
額ノ制限ニ致シマシテモ、直接國稅十圓以下ト云フ制限ニシマスルト云フト、國稅ヲ納  
メナイ者デアリマシテ、而シテ何千圓何萬圓ト云フ財産ガアル者ガアリマシテモ、矢張り  
加入ノ資格ヲ得ル譯ニナルト云フ譯デアル、ドウモ稅額ノ制限デハ甚ダ不公平ナ結果ヲ  
來スコトハ是モ明瞭ナル事實デアリマス、而シテ列記法ヲ採テ行ッたらバドウカ、身分  
職業ヲ列舉シテ行ッテ、或ハ職工トカ工夫トカ商業使用人トカ下級ノ官公吏トカ云フ  
列記法ヲ採テ行キマシテ、既ニ案モ出來テ居リマスルガ、是ニシマシテモドウモ漏レガア  
リマス、社會ノ各般ニ互ツテ身分ヲ職業ヲ漏レナク列記シマスコトハ到底不可能デアルト  
云フコトデ、結局是ハ行政上、法律ノ施行上不可能ダト云フコトノ斷定ヲ得マシタノデ  
アリマス、既ニ遞信大臣モ、又政府委員ニ於カレマシテモ是ニ付テハ餘ホド周密ナル考慮  
ヲ費サレテ考ヘラレタ結果、ドウモ是ハ不可能ダト云フ、ソコデアリマスト云フト此行政  
ノ作用上不可能ナルコトヲ以テ、政府ニ我々ガ強ユルト云フ趣旨ハ、法律ノ改正ニ依ッテ  
政府ニ之ヲ強ユルト云フコトハ、ドウモ趣意ニ於テハ如何ニ御賛成ヲ申シマシテモ、其  
實行ノ不可能ナルコトヲ以テ政府ニ強ユルトハ我々立法ノ職ニ居ル者ノ爲スベキコトデ  
ナイト考ヘマスルカラ、此點ハ尙ホ山本君ニ於テモ御再考ヲ願ヒタイト思ヒマス、且又此  
第二ノ金額ノ問題、二百圓ヲ二百五十圓ニスルト云フコトモ是モ程度問題デアリマス、  
サマデ反對ヲスル理由モアリマセヌ、サリナカラ政府ニ於テ既ニ二百圓ト云フ計算ヲ立デ  
マシテ、ソレデ平均七十五圓ト云フコトニナル、其七十五圓ト云フコトヲ基礎ニシテ保

險料ヲ割出シテ居リマスルノデアリマスカラシテ、今之ヲ二百五十圓ニ下ゲマスト云フト  
自ラ保險料ノ歩合ヲ上ゲナケレバナラナイ、サナキダ此保險料ノ歩合ガ普通保險ト比  
ブレバ高イト云フ、其上ニ持ツテ來テ此五十圓下ゲタ結果、保險料ガ尙ホ高マルコトハ  
我々立法ノ趣旨ガ社會政策ニアル以上ハ、成ルベク保險料ヲ廉クスルモノヲ、原案以  
上ニ保險料ヲ昂ムベシト云フコトヲ政府ニ求ムルコトハ、是モ我々ニ於テ如何カト考ヘマ  
ス、若シ之ヲ保險料ノ歩合ヲ昂メナイデ矢張り七十五圓ノ範圍ニ於テ政府ガ銳意努力シテ集約  
的ニ此被保險人ヲ集メルト云フ結果ニ出ナケレバナラナイ、若シ此二百五十圓ノ範圍  
內ニ於テ集約的ニ政府ガ多數ノ被保險人ヲ集メルト云フコトニナリマス、是ガ民間ノ  
保險業ニ及ボス影響ハ二百圓ニシテ置イテ緩漫ニ集メルト、二百五十圓ニシテ銳意被  
保險人ヲ集メルト云フト、保險業者ニ若シ壓迫ト云フ事實ガアリト假定シマスレバ壓迫  
ノ程度ガ果シテドウ云フコトニナリマセウカ、寧ろ保險業者ハ二百圓ニ措イテ壓迫ノ緩  
漫ナラムコトヲ望ムデアラウト、先ツ我々素人考ヘラレマス、サウ云フ事實上論理上  
ノ結果ヲ考慮イタシマスルカラ、尙ホ山本君ニ於カレマシテモ此點ハ尙ホ御一考ヲ願ヒタイト希  
望イタシマス

○山本達雄君 尙ホ再度デゴザイマスルガ、段々私ノ修正案ヲ提出イタシマシタコトニ  
付テ御非難モアリ、又御勸告モアルヤウデゴザイマスカラ一應尙ホ申上ゲマス、最初ニ於  
テ小松君ヨリ此簡易保險ノ性質ニ於テ御講釋ガアリマシタデゴザイマス、如何ニモ博學  
ニシテ且遞信省ニ年來御奉職ニナッタダケニ、色々御講釋ヲ聽キマシテ蒙ラ啓イタ點モ  
アルノデゴザイマス、併ナガラ此簡易保險ノ勞動保險ト云フモノヲ取違ヘテ居リハシナイ  
カト云フコトニ付テ、詳シク勞動保險ノ御講釋ガアツタ、是ハ私ハ淺學ナリト雖モ又素  
人ナリト雖モ、勞動保險ノ簡易保險ノ區別ノアル位ナコトハ承知シテ居ルデアリマス、  
ソコデアリマスカラシテ、私ニ對シテ勞動保險ノ外國ニアルコトヲ長ミト御講釋ニナッタコ  
トハ私ニ付テハ何等ノ値ヲ持タナイ、ソレカラ簡易保險ノコトデ、是ニ付テ簡易保險ナル  
モノハ讀ンデ字ノ如ク、簡易ニ大變便利ナモノデアル、ソコデアル故ニデス、ドンナ身分ノ  
立派ナ人ガヤラウガ、高等官ガ這入ラウガ誰ガ這入ラウガ少シモ差支ナイノデアル、寧ろ歡  
迎スルノデアル、斯ウ云フ御話デゴザイマス、是ハ最初ヨリ政府ガ提出ヲサレマシテ、遞信大臣  
ガ說明サレタル趣旨トモ大變違フノデアル、是迄始終唱ヘル所ニ於テハ下層社會、下級社  
會ノ爲ニ大ニ保護ヲ與ヘ、便利ナ法ヲ求メ、サウシテ恒ノ產ヲ作り依ツテ恒ノ心ノアルヤウ  
ニシタイノデアル、此社會ノ下層ハ學識モ乏シイ知識モ乏シイ、色々スルモノデアルカラシ  
テ、政府ガ誘導シテヤリタイノデアルト云フ說明デアリマス、私ハサウ思ウテ居ル、此事ヲ  
唯金額ヲ限ッテ小サクシテ、ドンナ立派ナ人デモ、世ノ中ニドンナ名譽ノアル人デモ誰デモ  
喜ンデ迎ヘルノトハ思ッテ居ラナイ、ソレデアリマス故ニサウ云フ知識階級ノ人、中産以上  
ノ人ハ營利會社タル數十ノ保險會社ガアリマスル故ニ、ソレニ委ネ、サウシテ自身ノ知識  
ニ付テ選擇ヲシテ然ルベキ保險會社ニ這入ルベシ、併シ下級社會ニ付テハドウカ、其知識  
モ持タナイ色々ノ者ニ付テハ政府ガ非營利主義デ、官營デアルガ宜イト云フノデアル、ソ  
コデアル故ニ其趣意デアルナラバ成ルベク其下級者ニ遍ク行クト云フコトヲシナケレバナラ

ス、上流社會ノ人ガ來レバ喜ンデ迎ヘルノデハナク、ソレハオ前ハ細民デハナイ、政府ハオ前ヲ得意ニシテ居ルノシヤナイト云ツテ拒ムガ當然デハナイカ、サウデナケレバ政府ガ之ヲ細民保護ノ爲ニ、細民ニ恒心恒産ヲ作ルガ爲ニ、節儉ノ念慮ヲ生ゼシムル爲ニ、治々色ミナコトヲ言フテ居リマスガ、何等ノ意味モナイノデアル、ソコデアリマス故ニ私等ハ是ニ付テハ成ルタケ政府ノ趣意ノアル如キ範圍ニ之ヲ成ルベク縮メテ行クガ宜シト云フノデアリマス、唯ダ金額ガ少イ、金額ガ少イ故ニ細民デアル、下級民デアルト云フコトデアレハ大ニ間違ヒラ起ス、立派ナ者ニ付テモ是ニ付テ洵ニ確デ、政府ガヤツテ便利デアルト云フナラバ喜ンデ行クニ極ツテ居ルモノナラバ、普通ノ營業者ト競争スルコトモ是モ極ツテ居ルコトデアル、而シテ普通ノ營業ノ平均ハ何カト云フト五百七十何圓ト云フ如キ平均デアル、而シテ此五百圓以下ノモノガ既ニ半數以上モ今日數ニ於テアル、或ハ金高ニ於テ殆ド四割ニ垂ミトスル如キ餘計ナモノガアルデアリマス、ソレニ付テ見ルト云フト競争ガ起リ打撃ガ起ツテ經濟界ヲ紊スト云フコトハ必然ノ結果デアル、故ニ之ヲ出來得ルタケ政府ノ趣意ニ依ツテ、サウシテ其範圍ヲ狹メ下等社會ニ及バヤウニ、貧民ニ付テ成ルタケ行クヤウニト云フコトヲ政府ノ趣意ニ依ツテ調ベルノガ適當デアル、而シテ其資格ヲ定メル上ニ付テ不可能デアル、不可能ト云フコトハナイ、凡ソ人ニ付テ人格モ定リ、或ハ政治家アリ乞食アリ色モノノ付テ職業ガアル、是ハ分ラナケレバナラヌ、殊ニ小松君ノ如キハソレヲヤルト云フト郵便局ノ銘々窓口ニ於テ、貴様ハ何職業カ、ソレハ出來ナイト云フガ、ソナモノデハナイ、二十年モ五十年モ六十年モ生涯ノ間ニ付テアルノデアリマス、初メヨリ身分ヲ定メテ置イタナラバ、必ズソレニ付テ依頼スル書類モアル、色ミシテ居ルガ故ニソレハ行カヌコトハナイ、唯ダ面倒デアル、面倒ナルト同時ニ又之ヲヤルコトハナカク、難イコトデアル、併シ如何ニ難クモ、如何ニ面倒モ政府ノ趣意ガ其處ニアルト云フナラバ尙ホセザルニ勝ル、若シ是ガ時ガアルナラバ我々モ諸君ト共ニ議シテ、斯ノ如キ點ニ於テ制限ヲ付ケ得ル、斯ノ如キ職業ニ於テ此位ノ數ニ於テ行ケヤウト云フコトハ出來ルコトダト云フノデアル、如何セム時ガナイ、時ガナイ故ニ是ガ明年マデ延ハサレバ宜イカ、何シロ延バサズニ今日ノ此會期ガ迫ツテ居ルノニヤラウト云フガ故ニ、其資格ヲ造ルノハ政府ヲ信ジテ勅令ニ委ネマス故ニ、適當ナ政府ガ御示シニナルガ如キ趣意ニ於テ相當ナル資格ヲ付ケテ御ヤンナサイ、是モ餘ホド私共ハ寛大ナコトダト思フ、ドチカト云フト自ラ十分ニ其資格ヲ造ツテ提出シタイ位ニ思フノデアリマス、如何セムイカヌカラシテソレハ政府ニ御委セザルガ故ニ、ドウゾ勅令ヲ以テ適當ダト思フ所ニ、而シテ其適當ナルモノハ下層社會ニ遍ク行渡リ、上流社會ニ付テハソレハ成ルベク防ガヤウニト云フ意味ニ於テドウゾ資格ヲ付ケテ下サイ、斯ウ云フ意味デアル、又此二百五十圓ト云フモノニ付テハ、是ハ説明致シマス茲ニ數字モ精シカアリマスカラシテ行キマスガ、唯ダ重複ヲ恐ルルノデ簡單ニ御答致シマスガ、政府ハ之ヲ自身ニ決メテ置イテ、此自身ノ決メタモノヲ少シデモ減ジタナラバ己ノ豫算ハ狂フノデアル、ソレハ爲サナイト云フノデアル、併シ荒井君ノ質問ニ於テモ起リマシタガ、例ヘバ二百圓ニシテモ七十五圓ガ平均デアリマスガ、其中ニ就イテ五十圓ノ人ガ七人這入ッテ、百圓ノ人ガ一人這入ッテ、二百圓ノ人ガ一人這入ルト云フコトニナツテ來タナラバ遂ニ平均ガ失張リ八十圓ト云フコトニナルノデハナイカ、ソコデアルカラソレハ見ヤウニ依ツテドウニモナリマセウ、又手數

料ノ方ニ至ツテモ千分ノ六トカ、或ハ集金ニ付テ百分ノ十二トカ、如何ニモ此普通ノ保險會社ヨリモ率モ高シ、假令小額ト雖モ非常ニ率ガ高イノデアル、斯ウ云フモノヲ私共ハ節シ得ル積リナシデアル、又保險ノ率ハ幾ラニ増スカト云ツテ見ルト二分五厘デアル、今日ノ如キ金融ハ緩漫ニシテ、サウシテ内デ數千萬ノ金ヲ募ツテ外國ニモ還サウト云フガ如キ、千載一遇ノ金融ハ緩漫ニシテ居ル其時デサヘモ、年五厘ニシテ九十六圓トカ五圓トカ云ハネバ容易ニ募レナイト云フ如キ金融ノ狀態デアル、政府ニシテ斯ノ如シ、又預金局ニ付テ何モ年二四分八厘ト云フガ如キモノニシテ取ツテ居ルノデアル、之ヲ廻スノハ三厘五厘外廻ラヌト云フガ如キコトモ、我々ハ甚ダ怪訝ニ堪ヘナイノデアル、併シ政府委員ハ曰クソレハ此モノハ二十年モ四十年モ後ノコトデアル、ソレハ率ヲ低クシテ置カナケレバ出來マセヌト云フノデアリマス、併シ三十年五十年ノ後ニ於テ必ズ利率ガ三厘ガ適當デアルカドウカト云フコトハ甚ダ困ルコトデアル、又社會ノ進運ニ依ツテ必シモ先ニ行ツテ利率ガ廉イト云フ譯デアハナイ、例ヘバ世界ニ於テ英國ハドウダ、英國ノ「コンソル」ハ年利二分七厘五毛、若クハ二分半ト云フ如キ利率ヲ以テ公債ヲ募ツテ、數十年ノ間來テ居ッタデアル、然ルノニ七八年前「トランスバール」ノ戰カラ段々金融ガ逼迫シテ、世界的ニナツテ來テ、日本ノ如キ當テ外國ニモ額ヲ出サナイ所デモ數十億ノ外債ヲ募ルト云フヤウナコトニナツテ來ル、世界ノ金融ハ段々上ツテ來テ居ル、二分七厘五毛、二分半ノ英國ノ「コンソル」ハ今日ハ六十圓、是ハ戰爭デアルカラ廉イ、此戰爭ノ始マル前ニ、七八年前ニハ百五磅、十磅ヲシテ居ッタ、英國ノ公債ガ僅ニ七十圓ヤ六十圓臺ニナルト云フガ如キ變化ヲ來シタノデアル、必シモ後ニ至ツタラ利子ハ廉イカラ三厘五厘デナケレバナラヌト云フヤウナコトハナイ、斯ウ云フコトモ政府ノ働キニ依ツテヤレバ、三厘五厘モ四厘ニ廻ハス五厘ニ廻ス、何ノコトハナイ、現ニ郵便局ノ預金ハ其以上ニ廻ツテ居ルデハナイカ、現ニ廻ツテ居ル、然ルニ用心ヲシナケレバナラヌト云フコトデ、三厘五厘ト云フコトハ我々實業會社ノ者ニハエライ奇異ノ思ハスルヤウニ率ガ廉イ、サウ云フモノニ付テモ三厘五厘ヲ四厘ニ廻ス、四厘五厘ニモ廻スト云フコトニナレバ、少々ノ喰違ヒ位ハ何デモアリヤシナイ、洵ニ行政官ガ易々タル事ト私等ハ思フノデアリマス、ソレ故ニ此二百五十圓ト云フモノニ付テハ私ハ餘ホド政府ノ案ヲ重シテ、出來ルダケ高クシタ所デ二百五十圓、成ルベクナラバ、二百圓以下ニモシタイト云フ位ニ思ツテ居リマス、故ニ唯今桑田博士ヨリ御忠言ノアツタ事ハ遺憾ナガラ私ハソレニ服從シテ說ヲ變ズルコトハ出來マセヌ、尙一應申上ゲマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 尙御意見ノアル御方ガゴザイマスガ、ゴザイマセヌケレバ、一應採決ヲ致ス前ニ御諮リヲ致シタウゴザイマス、即チ此簡易生命保險法案ニ付キマシテ、山本君ヨリ修正說ガ出テ居リマスノハ第三條ノ第二項、並ニ第四條ニ關シタ事デゴザイマスガ、是ハ一括シテ議題ト致シマシテ唯今御討論ガアリマシタ、若シ此際是以外ニ於テ即チ第一條ヨリ第三十四條マデノ間ニ於テ山本君ノ修正說以外ニ何カ修正ノ御意見ヲ有ツテ居ル御方ガアレバ、又山本君ノ修正中ニ此二ツノ項ガアリマスガ、此二ツノ中ノ一方ノ修正說ヲ持スル御方デモゴザイマスレバ、此際御申デヲ願ヒタイ……山本君以外ノ御修正說ハナイモノト認メマス

○子爵前田利定君 チョット委員長ニ伺ヒタウゴザイマスガ、此採決ノ方法ハ讀書

的ノ御順序ニ御據リニナルノデアリマスガ、若クハ山本君ノ御提出ノ修正案ヲ可トスルヤ否トスルヤ、即チ修正案ヲ可トスルヤ、原案ヲ可トスルヤ、此二ツノ中ヲ擇ベト云フ意味ニ於テ御採決ヲナサラウト云フ御考デアリマスガ、其邊ヲ伺ッテ置キマス

○委員長(伯爵林博太郎君) アトニ御述ベニナツタ通りニ採決イタシマス

○子爵前田利定君 然ラバ本員ハ先程モ申上ゲマシタ通り、此法案ニ付キマシテハ反對ノ意見ヲ有シテ居ルノデアリマス、然ル所此場合ニ於キマシテ、修正案ヲ可トスルヤ、原案ヲ可トスルヤ、此二ツノ中ノ一ツヲ擇バナケレバナラヌト云フ境遇ニ立チマシタ以上ニハ、自分ノ說ニ近イ所ノ修正案ニ贊成ラスルト云フ事ヲ表明イタシテ置キマス

○委員長(伯爵林博太郎君) ソレデハ是ヨリ採決ヲ致シマス、山本君ノ修正案ヲ可トスル御方ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○委員長(伯爵林博太郎君) 多數デゴザイマス、山本君ノ修正案ハ通過イタシマシタ、尙御諮リヲ致シマスガ、山本君ノ修正說ヲ除キマシテ其他ノ本案全部ヲ更ニ問題ニ供シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵林博太郎君) 全部御異議ハゴザイマセヌカ、ソレデハ是ヨリ簡易生命保險特別會計法案ヲ問題ニ供シマス、是ハ簡單ナ案デアリマスカラシテ、讀會省略テ決ヲ採リマシタラ如何デゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵林博太郎君) ソレデハ此法案全部ヲ問題ニ供シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵林博太郎君) 御異議ナイモノト認メマス、此法案モ可決ニナリマシタ、是ニテ簡易生命保險法案並ニ簡易生命保險特別會計法案ノ特別委員會ハ終了ヲ致シマシタ

午後三時三十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵林 博太郎君

副委員長 子爵前田 利定君

委員

子爵本多 忠鋒君

仲小路 廉君

小松謙次郎君

山本 達雄君

男爵眞田 幸世君

男爵長松 篤榮君

富井 政章君

山之内 一次君

水野鍊太郎君

桑田 熊藏君

荒井 泰治君

鎌田勝太郎君

日高榮三郎君

國務大臣

遞信大臣 箕浦 勝人君

政府委員

法制局長官 高橋

作衛君

法制局參事官 松本

添治君

法制局參事官 馬場

肥後

鏌一君

遞信省副參政官 荒川

五郎君

爲替貯金局長 八次君

爲替貯金局事務官 日吉

爲替貯金局事務官 平吉君

大正五年三月九日印刷

大正五年三月十日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局